Standalone Digital Video Recorder

デジタルビデオレコーダ

４チャンネル D-104

取 扱 説 明 書

MADE IN KOREA

PD3 - v2.14_8230　この取扱説明書には一部準備段階の内容が含まれており、予告無く変更されることがあります。

米国連邦通信委員会規定遵守に関するステートメント

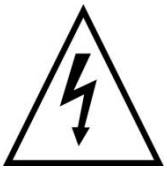
注意: 本製品がノイズ規格FCC Part 15のクラスAに対応していることを試験により確認しています。 FCCPart15の規定は、電子機器が商業用途で使用される際に有害なノイズを生じさせて電磁環境を悪化させることを防ぐための規制です。 本製品は機器内部で電磁エネルギーを生成、使用しているため電磁波を放出する可能性があり、もし、当取扱説明書の指示を守って設置または使用しなかった場合は電波通信に対して有害な干渉を生じさせる恐れがあります。本製品を住宅地域で使用すると有害な電波干渉を引き起こす場合があり、そのような事態が生じた場合は本製品の使用者は自己の負担により対策を講じなければなりません。

注意
法令遵守責任を負う団体が明示的に許可していない交換や変更が行なわれた場合、機器の使用者は機器を使用する権利を失うことがあります。

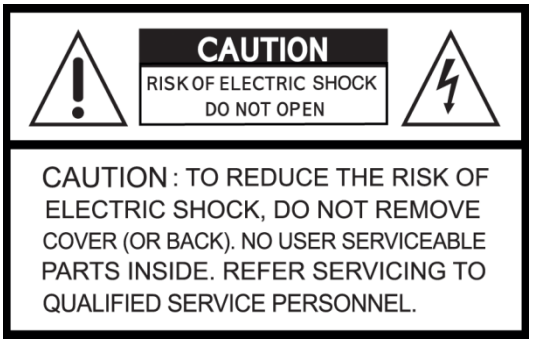
本製品は FCC CFR 47 PART 15 SUBPART B, Class A の規格に適合しています。

注意表示の意味

この記号は、製品に同梱されている取扱説明書の中で操作や保守をするための重要な情報であることを使用する方に知らせるためのものです。



この記号は、この製品の筐体の中に絶縁されていない高い電圧がかかっており、感電する恐れのあることを利用になる方に警告するためのものです。



警告

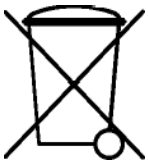
- 本製品の設置や修理は資格と経験のある方が実施してください。
- カメラや音声あるいはセンサのケーブルを接続する際は必ずDVRの電源を落としてから実行してください。
- 製造者は本製品の不適切な利用、あるいは説明書の指示に従わずに利用したことで生じた損害に対して一切の責任を負いません。
- 製造者は使用者がDVRを点検あるいは修理しようとして本体のカバーを開けたことにより直接的にあるいは間接的に生じた故障に対して一切の責任を負いません。
- 製造者は本体に貼られていたラベルが剥がされた機器に対しては責任を負えない場合があります。

注意

- 本製品は100Vと200V仕様です。電源に接続する際は電源電圧に十分注意し、説明書の指示に従ってください。
- 本製品にはリチウムイオン電池が使用されています。
- 爆発の危険を避けるためメインボード上の電池は交換しないでください。止むを得ず交換する場合は必ずリチウムイオン電池を使用してください。
- 使用済みの電池を処分する場合は電池の製造者の指示に従ってください。

- 本製品および接続するケーブル類は全て屋内で使用することを前提としています。
- 火災あるいは感電の危険を避けるため、機器を雨あるいは湿気に曝さないでください。

WEEE(電気・電子機器の廃棄に関する欧州議会および理事会指令)



EU域内の使用者は、統制品の寿命が尽きた際は、その地域の法律、規制および手順に従って廃棄することが求められています。

重要な安全指針

1. 説明書をよく読んでください。

• 火災あるいは感電の危険を避けるため、機器を設置あるいは使用を始める前に、この説明書をよく読んでください。

2. 説明書を保存しておいてください。

• 取扱説明書は将来に参考とするため必ず保存しておいてください。

3. 清掃

• 本製品を清掃するときは必ず電源プラグを抜いてください。液体スプレー式の洗剤は使用しないでください。清掃には水分を固く絞った柔らかい布を使用してください。

4. Attachments付属品類

• 製造者の許可無くいかなる付属品類や機器類を取り付けないでください。それらの付属品は火災、感電、あるは怪我などの原因になる恐れがあります。

5. 水分と湿気

• 本製品は水の近くあるいは水滴の掛かる場所では使用しないでください。

6. アクセサリなど

• 本製品を不安定な台車、台あるいはテーブルに設置しないでください。機器が落下すると、周囲の人に重症を負わせ、機器に深刻なダメージを与える可能性があります。

• 本製品を壁や棚に設置するときは製造者の指示に従い、製造者が承認したマウンティングキットを使ってください。

• 本製品を台車に載せて移動する場合は十分注意してください。急停止、必要以上の力および平らではない床により機器と台車が転覆する可能性があります。

7. 電源

• 本製品を使用するときはラベルに記載された指定の電源を使用してください。もし電源について良く判らないときは販売店か地域の電力会社にお尋ねください。

8. 電源ケーブルとその他のケーブル

• 本製品の運用者あるいは設置者は機器を動かす場合は必ず電源ケーブル、映像信号ケーブル、アラーム信号ケーブルなどを全て外してから行ってしてください。

9. 落雷

• 本製品の運用者あるいは設置者は機器を動かす場合は必ず電源ケーブル、映像信号ケーブル、アラーム信号ケーブルなどを全て外してから行ってしてください。

10. 超過電力

• コンセントや電力ケーブルを許容電力以上で使用しないでください。火災や感電の恐れがあります。

11. 固体および液状物質

• 本製品本体の空隙からいかなる固体物質も内部に入れないでください。高電圧部分に触れたり、回路を短絡させたりして火災や感電を引き起こす恐れがあります。

• 本製品の上にいかなる液体もこぼさないでください。

12. 修理

• 本製品を自ら修理しようとしないでください。修理は全て資格のある者に依頼してください。

13. 修理が必要な損傷

• 下記の状態の場合には、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、資格のある者に修理を依頼してください。

① 電源コードあるいは電源プラグをコンセントから抜き、資格のある者に修理を依頼してください。

② 液体をこぼした、あるいは固形物質が機器の内部に入ったとき

③ 機器が雨か水に曝されたとき

④ 取扱説明書の指示通りに操作、あるいは取扱説明書の指示通りに調整しても正常に機器が機能しないとき
不適切な調整により機器がダメージを受けた場合は、資格のある技術者が膨大な作業をしなければ機器を元の正常な状態に戻せないことがあります。

⑤ 本製品を落としたとき

⑥ 本製品の動作が著しく変化したとき---修理の必要性を示唆しています。

14. 交換部品

• 交換部品が必要になった場合は、製造者の指定した部品あるいは元の部品と同等の特性を持つ部品と交換してください。認定されていない交換部品を使用すると火災や感電、その他の危険があります。

15. 安全点検

• 本製品の修理が終了したとき、修理技術者に安全点検をするよう依頼して、機器が良好な状態であることを必ず確認してください。

16. 現場での設置

• 現場での設置は資格のある者が行い、設置場所の規則に即して実施してください。

17. 電池

警告
異なる種類の電池と交換すると電池が爆発する恐れがあります。使用済み電池は規則にしたがって廃棄してください。

18. 動作温度

• 動作温度範囲は仕様書に記載されています。使用者あるいは設置者は機器を適切な環境で運用してください。

19. 周囲温度の上昇

• 機器を締め切った空間か複数台数のラックに設置した場合、運転時の機器の周囲温度は室温よりも高くなっている可能性があります。仕様書に記載された動作温度範囲内で運用できるよう設置場所の選定には十分配慮してください。

20. 風量の不足

• 機器をラックに設置する場合は空気の流れが重要です。機器を安全に運用するために風量が十分確保できるよう配慮してください。

21. ラック内の設置

• 機器をラック内に設置する場合は均等に設置してください。不均等に設置すると危険を生じる恐れがあります。

22. 過負荷

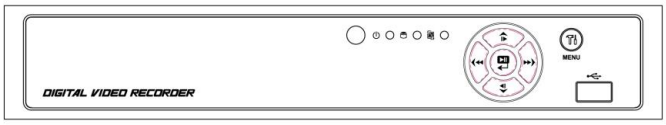
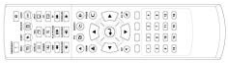
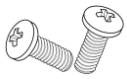
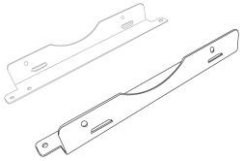
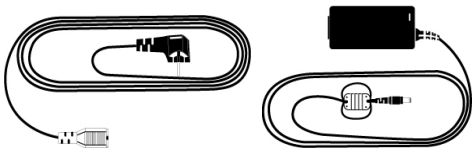
• 機器を電源に接続する際は過負荷を生じないよう過電流防止機器と電源ケーブルの選択には十分配慮してください。機器の消費電力を機器のラベルに記載するなどして事前に過負荷を避けるよう工夫してください。

23. アース(接地)

• ラック内の機器が安定した接地状態を維持できるように設置してください。 特に電源ラインを分岐させたような場合は十分な注意が必要です。

警告
機器のシールやラベルが剥がされているか、損傷を受けて読み取れない場合は保証が無効になります。

梱包品のリスト

DVR 本体	 4 CH
CD（ソフトウェアとマニュアル）	
リモートコントローラ	
ネジ類	
HDD 取付金具	
データケーブル	
電源アダプタ/電源ケーブル	
取扱説明書	

使用上の注意事項

❍ 電源を落とす

- DVRが動作（録画/再生）しているときは、DVRの電源を落としたり、電源アダプタを抜いたりしないでください。機器に致命的損傷を与える恐れがあります。電源を落とす場合は、必ずメニュー項目「システム」内の「シャットダウン」を選択してDVRが完全に停止してから電源ラインを抜いてください。再度電源を入れる場合は5秒以上待ってからにしてください。
- 外部記憶装置（USBメモリースティック、外付けHDDなど）が動作しているときは、DVRの電源を落としたり、電源アダプタを抜いたりしないでください。機器に致命的損傷を与える恐れがあります。データの保存が完了するまで外部記憶装置の電源スイッチはONのままにしておいてください。外部記憶装置を動作中に外すとDVRにも同様の損傷を与える恐れがあります。
- ハードディスクのフォーマット中は、DVRの電源を落としたり、電源アダプタを抜いたりしないでください。機器に致命的損傷を与える恐れがあります。HDDのフォーマットが完了するまでは電源スイッチがONのままにしておいてください。

❍ HDDの組込み/追加/移動/交換/取外し

- HDD（DVD-RW）の組込み/追加/移動/交換/取外しを行う際は、必ずDVRの電源を落としてください。電源を入れたまま行うとHDD（DVD-RW）に致命的損傷を与える恐れがあります。
- 電源を落とす場合は、必ずメニュー項目「システム」内の「シャットダウン」を選択してDVRが完全に停止してから電源ラインを抜いてください。
- **HDDの組込み/追加/移動/交換:** 最初にHDDの初期化とフォーマットを実行してください。初期化とフォーマットを実行しないとDVRはHDDを認識せず、正常に機能しません。HDDの初期化は次の手順に従って実行してください。
  ①（日時設定）現在の日時を設定します。（メニュー>システム>アドミン>日時）。
  ②（設定の初期化）全ての設定値を次のように工場出荷値に戻します。メニュー>システム>情報>ステータス>設定>デフォルト。
  ③（HDDフォーマット）HDDのフォーマットは次のように実行します。メニュー>システム>アドミン>記録>フォーマット。フォーマットが完了するとDVRは自動的に再起動します。
- **HDDの取外し:** ハードディスクを取り外したときは下記の手順を実行してください。
  - メニュー>システム>アドミン>記録>REMOVED。 HDDリストの右端のフォーマット項目にある 'Removed' を クリックすると取外しを確認する作業が実行され、終了するとDVRは自動的に再起動します。

❍ 日時変更

- 日時の変更は直ちにライブ映像に反映されますが、録画された映像の日時は変更されません。
- 日時を変更した後は必ずDVRを再起動してください。
- 再起動は、メニュー>システム>シャットダウンの手順で実行してください。

❍ システムの更新

- システムの更新作業はハードディスクを搭載してから実行してください。ハードディスクが正常に動作していることを確認してからシステムの更新を行います。

❍ マウスの使用方法

- **左ボタン:** DVRの前面パネルのエンターボタン **(↵)** と同じ機能。
- **中央ホイール:** DVRの前面パネルの検索 **Search** ボタンと同じ機能。
- **右ボタン:** モニタ画面にファンクションキーを表示します。この取扱説明書のマウスの使用方法の項目を参照してください。

❍ 再生/一時停止キー

- 再生/一時停止キーを一度押すと録画データの最後の1分が再生されます。
- 再生/一時停止キーを再生中に押すごとに「1X再生」と「一時停止」を交互に実行します。モニタに表示される再生状態表示も同時に ▶ と **II** に交互に変化します。
- 再生中に再生モードを変更する場合は（1X PLAY, REW, FF, BACKWARD, FORWARD）最初に再生/一時停止ボタン押します。（モニタスクリーン上に **II** が表示されることを確認してください。）
- バックアップ操作をする際も再生/一時停止ボタンを押してください。バックアップは一時停止モードで実行します。

❍ カメラタイトル

- 録画と再生モードのときモニタに表示されるカメラタイトルはCAM1 – CAM4です。カメラタイトルを変更する場合は、メニュー項目の(デバイス>カメラ/PTZ>タイトル）で行います。

製品の特長

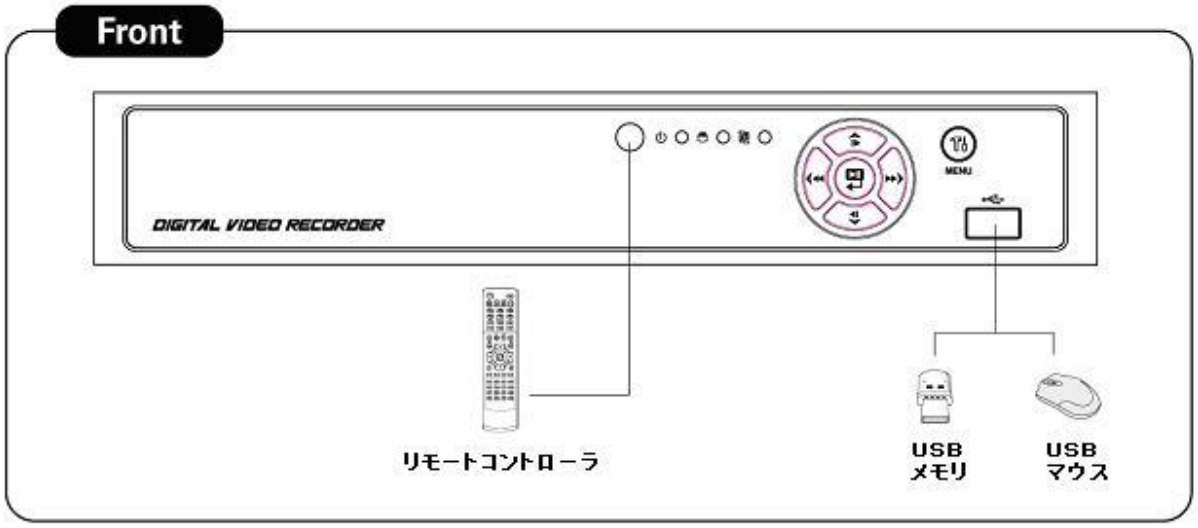
1.1 開梱

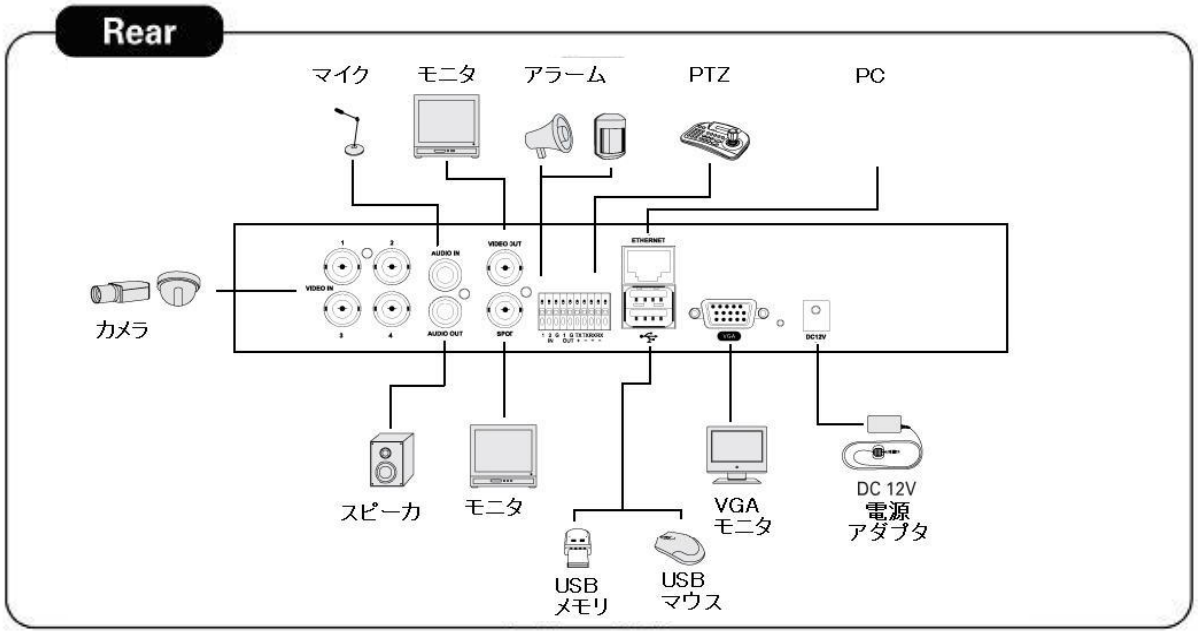
• この装置は精密電子機器です。十分注意してお取扱いください。
• 梱包を開梱して次のアイテムが全て揃っていることを確認してください。
  – DVR本体
  – 電源アダプタ（DC 12V, 5A）および電源ケーブル
  – リモートコントローラおよび単3乾電池2本
  – 取扱説明書およびCD（CMSソフトウェア）

1.2 サービス

• 万一製品に何らかの問題があった場合は直ちに販売店にご連絡ください。

1.3 システム接続図





2. 組立て

2.1 ハードディスクとDVD-RWのインストール

2.1.1 SATAポート

• このDVRのメインボードにはSATAポートが1つあります。

	記憶装置	SATA 1, 2 ポート
4 CH DVR	HDD	1
	1	HDD

2.1.2 ハードディスクドライブの組み込み

• ハードディスクドライブは同梱のブラケットとネジを使って固定します。
• 同梱のデータおよび電源ケーブル以外は使用しないでください。
• 異なる部品を使用した場合はハードディスクドライブを損傷する可能性があります。

注意
組み込みは必ず電源を切ってから実施してください。電源を切らずに行うとHDDに致命的なダメージを与える恐れがあります。DVRの電源を切る手順は設定>システム>シャットダウンとクリック(↵)します。 電源の再投入は電源を切った後5秒以上待ってから行ってください。

注意
• HDDあるいはDVD-RWの組み込み、追加、交換、取外しはDVRの電源を切ってから行ってください。電源を切らずに実行するとHDDあるいはDVD-RWに致命的なダメージを与える恐れがあります。
• **組み込み/追加/移動/交換**: HDDはフォーマットを含む初期化を行ってから使用開始してください。初期化を行わないとDVRはHDDを認識せず、DVRが正しく動作しなくなる場合があります。次の手順に従ってHDDを初期化してください。
  ① (日付/時刻設定)現在の日付と時刻設定(設定＞システム＞アドミン＞日付/時刻)
  ② (システムの初期化)設定値を全て工場出荷地に戻す
  -(設定＞システム＞情報＞ステータス＞設定＞デフォルト)
  ③ (HDDフォーマット) HDDフォーマットを実行 - 設定>システム>アドミン>保存>フォーマット。 2個以上HDDを組み込んだ場合はそれぞれ別々にフォーマットしてください。 フォーマットが完了するとDVRは自動的に再起動します。
• **取外し**: HDDを取り外す場合は次の手順に従ってください。
  - 設定＞システム＞アドミン＞保存＞フォーマット。取り外したHDDの「フォーマット」欄の 'Removed' をクリック(↵)してください。「取外し」が完了するとDVRは自動的に再起動します。

2.2 ワイヤのつなぎ込み

2.2.1 ビデオイン/アウト

• カメラからのケーブルは「VIDEO IN」に接続。

2.2.2 モニタ(Video Out・VGAおよびスポット)

• CCTVモニタおよびPCモニタが使用できます。CCTVモニタは「**VIDEO OUT**」に、PCモニタは「**VGA**」コネクタにそれぞれ接続します。必要に応じて別のCCTVモニタを「**SPOT**」に接続します。

2.2.3 音声

• マイクを「**AUDIO IN**」に、スピーカーを「**AUDIO OUT**」に接続します。スピーカはボリューム調整機能付きを選んでください。

2.2.4 TCP/IP(イーサネット)

• LANケーブルは「ETHERNET」コネクタに接続します。
• インターネットに接続するにはストレートのLANケーブルをご使用ください。DVRとPCを直接LANケーブルで接続する場合はクロスのケーブルを使用します。

2.2.5 アラーム

• アラーム入力（センサなど）ケーブルは「**AI 1～AI 2**」コネクタに、コモン線は「**G**」コネクタにそれぞれ接続します。
• アラーム出力（ブザー、サイレンなど）ケーブルは「**AO 1～AO 2**」コネクタに、コモン線は「**G**」コネクタにそれぞれ接続します。
• PTZレシーバあるいはPTZカメラの制御線は「**RS-485/422**」コネクタに接続します。(+)と(−)の極性に注意してください。

2.2.6 RS-485/422

• PTZカメラを接続します。
• TX+, TX−, RX+ および RX− ターミナルを使用します。

2.2.7 USBポート

• USBポートは前後のパネルに合計3つあります。データをバックアップするUSBメモリあるいはDVRのコントロール用のマウスを接続できます。

2.2.8 リセットスイッチ

• DVRの設定を全て工場出荷値に戻すことができます。また同時にシステムログファイルを初期化します。
• リセットスイッチはバックパネル側のUSBポート左側にあるピンホールの中にあります。
• DVRがライブモードのときリセットスイッチのピンホールにピンを差し込み、スイッチがカチッと音がするまで押し込んでください。

注意
リセットスイッチは必ずライブモードのときに使用してください。設定モードでは絶対リセットしないでください。

2.2.9 電源

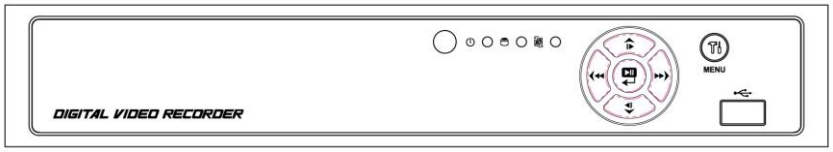
• 同梱のACアダプタ(**DC 12V, 3.3A**)のジャックをDVRの電源コネクタに差込み、次にAC100V電源プラグに差し込みます。アダプタの電源電圧は100VACから240VACに対応しています。必ず同梱のACアダプタを使用してください。別のアダプタを使用すると故障の原因となります。

2.2.10 接続ガイドライン

• **ビデオアウトコネクタ**: もしモニタを VIDEO OUT コネクタに接続する場合はモニタのインピーダンススイッチを75Ωに切換えてください。50Ωのままだとモニタ映像が白っぽくなったり歪んだりします。モニタの後さらに別のデバイス、例えばレコーダなど、を接続する場合はモニタを HIGH Z（高インピーダンス）に設定し、最後に接続するデバイスを75Ωに設定してください。
• **アラーム入力コネクタ**: AI 1～AI 2 コネクタには電圧を加えないで使用してください。

3. 入力デバイスとスクリーンアイコン

3.1 ボタンとLED表示



4 Channel DVR

ボタン	絵表示	操作機能	設定機能
▲, ▼, ◄, ►		· PTZ モードで PTZ カメラを上下左右に動かす · 再生モードで再生方向と速度、コマ送りのコントロール	スクリーンのカーソルを上下左右に動かす
エンター	↵	· マウスの左クリックと同じ · 再生モードで再生と一時停止	決定
メニュー		· メニュー画面を開く	
電源 （赤色）		· 消灯：DVR 電源 off · 点灯：DVR電源on	
HDD （緑色）		· 消灯：録画停止 · 点滅：HDDアクセス中（録画/再生モード、バックアップ）	
ネットワーク （黄色）		· 消灯：LAN 接続なし · 点滅：LAN接続中	

3.2 マウスの使用方法

• DVRを操作にはマウスUSBマウスのご利用をおすすめします。使用方法は下記を参照してください。
• マウスの左クリックはDVR前面パネルのエンター(↵)ボタンと同じように機能します。
• マウスの右クリックで次のファンクションキーがスクリーン上に表示されます。
• ファンクションキーの「検索」をクリックすると、DVR前面パネルのSearchボタンを押したときと同じように検索メニューが表示されます。

メニュー項目	機能	メニュー項目	機能
ディスプレイ	分割画面数の切り替え	イベント	システムログの表示
シーケンス	シーケンス表示モードon/off	検索	検索モードon/off
スポット	スポットモニターを使用する	設定	メインメニューを開く（設定モード）
ズーム	ズームする	緊急	緊急録画on/off
静止	フリーズモードon/off	シャットダウン	電源を落とす（設定＞システム＞シャットダウン）
PIP	ピクチャインピクチャ機能を使用する	キャンセル	ファンクションキーメニューを閉じる
PTZ	PTZカメラ制御モードon/off		

3.3 スクリーンアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	連続録画モード		音声録音
	イベント録画モード(アラーム/モーション)		CMSアクセス表示/アクセス者数(最大4人)
	録画中		シーケンス表示
	PTZカメラ登録/PTZモード		ロック
	リモコン		HDD上書きモード
	HDDの1回録画設定 (HDDフルで録画停止中)		HDDの1回録画設定(録画中)

3.4 リモコンボタンの機能

ボタン	絵表示	操作機能	設定機能
▲ ▼ ◄ ►		· PTZ モードで PTZ カメラを上下左右に動かす	スクリーンのカーソルを上下左右に移動
↵		· エンターボタン	決定
1 ～ 16		· カメラ選択ボタン : (4/8/16 チャンネル DVR)	
DISPLAY		· 1/4/9/16 分割画面数の選択	
SEQ		· シーケンス表示モード on/off (メインモニタ)	
ARCHIVE		· 外部記憶装置にデータをコピー	
FREEZE		· フリーズモード on/off	
EVENT		· システムログ表示 on/off	
EMERGENCY		· 緊急録画 on/off	
PTZ		· PTZ カメラ制御モード on/off	
AUDIO/ESC		· オーディオ on/off (ライブ/再生) · オーディオチャンネル選択:AUDIO を押した後チャンネルボタンを押す · ESC	
MENU		· メインメニューを開く (設定モード)	
REW		· 早巻戻し (最大 x128 まで)	
BACKWARD		· コマ送り逆再生	
PLAY/PAUSE		· ライブモード: ワンタッチ再生(最後の 1 分間のデータを再生) · 再生モード: 1X 再生/一時停止	
FORWARD		· コマ送り順再生	
FF		· 早送り再生(最大 x128 まで)	
SPOT		· スポットモニタのシーケンス動作 on/off	
PIP		· ピクチャーインピクチャー表示 on/off	
ZOOM		· 1 画面表示で 4 倍ズーム表示 on/off	
SEARCH		· 検索モード on/off	

4. 設定

4.1 ログイン/ログアウト

• 設定メニューを表示するにはDVRのデフォルト設定でパスワードの入力を必要としています。
• 「MENU」ボタンを押すと次のような画面が表示されます。

• DVRの全ての機能にアクセスするにはIDを「admin」とします。
• デフォルトパスワードは「1111」です。
• 管理者（Administrator）は各「ユーザ」の権限を設定することができます。 設定>システム>アカウント、で開くページの「ログイン設定」で各ユーザの権限を指定します。
• ログインに成功すると次のような画面が表示されます。

• 設定作業中も録画は停止せず継続しています。
• メインメニューには次の5項目のサブメニューがあります。
  – （**システム/ディスプレイ/デバイス/記録/リンク**）
• 設定メニューを終了するとき、システム＞終了をクリック **(↵)** すると次のような画面が表示されます。

• 「OK」をクリック**(↵)**するとログアウトできます。
• メインメニューの項目を移動するときは ◀ あるいは ▶ ボタンを押します。マウスの場合は直接項目のアイコンをクリック**(↵)**します。サブメニューの項目を移動するときは▼ あるいは ▲ ボタンを押します。項目を選択するには「エンター」**(↵)**ボタンを押します。マウスの場合はサブメニュー項目を直接クリックします。

(メモ)
設定モードのとき、DVR前面パネルの AUDIO/ESC ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。この機能が動作するのは設定モードのときだけで、ライブあるいは再生モードでは機能しません。

4.2 システム

4.2.1 情報

• システム＞情報とクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

ステータス

DVRネーム

• DVRを区別するため判りやすい名前を設定します。

• DVRネームをクリック(↵)すると次のようなキーボードが表示されます。

• キーボード上の文字や数字あるいは記号をクリック(↵)して名前を入力します。

① ← をクリック(↵)すると1文字を削除できます

② all をクリック(↵)すると全ての文字を削除できます。

• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。 変更を保存せず終了するには「キャンセル」 を選択します

システムID

• ひとつのリモコンで複数のDVRを制御するためには各DVRに別々のID番号を設定しておく必要があります。

• 「システムID」フレームの右端にある上下方向ボタン ▲ ▼ をクリック(↵)してID番号を選択します。ID番号は 1 から 255 の間で選択できます。

• 同様に（+）あるいは（−）ボタンをクリック(↵)するとID番号の10の位を増加あるいは減少させることができます。

言語

• 「言語」フレームをクリック(↵)すると言語のリストが表示されます。使用する言語をクリック(↵)して選択します。

設定

• **デフォルト**: 「デフォルト」フレームをクリック(↵)すると全ての設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。ただし、システムログは初期化されません。

（メモ） DVR裏面パネルにあるリセットスイッチによる初期化はシステムログも初期化します。

• **インポート**: USBメモリに保存された設定値をDVRにコピーします。USBメモリをUSBポートに差込み「インポート」をクリック(↵)します。

• **エクスポート**: DVRの設定値をUSBメモリに保存します。USBメモリをUSBポートに差込み「エクスポート」をクリック(↵)します。

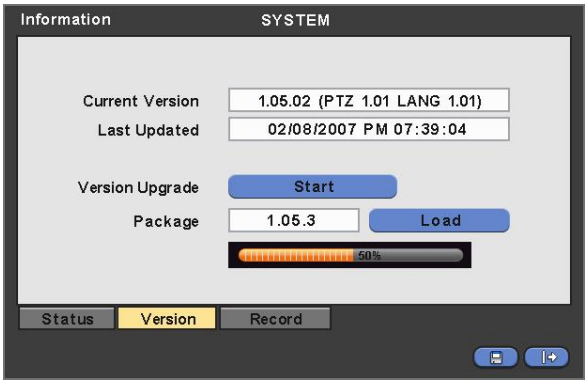
• デフォルト、インポートあるいはエクスポートを選択すると確認のメッセージが表示されます。「OK」をクリックするとそれぞれ動作を開始し、最後に動作の成功あるいは失敗を報告するメッセージが表示されます。

システムログ

• **Export:** システムログの内容をUSBメモリに保存します。USBメモリをUSBポートに差込み「Export」をクリック(↵)します。
• エクスポートを選択すると確認のメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると動作を開始し、最後に動作の成功あるいは失敗を報告するメッセージが表示されます。

バージョン

• 「バージョン」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



バージョンアップ

• DVRのファームウェアをバージョンアップします。
• バージョンアップするには次の操作方法に従ってください。
① アップデートファイルが保存されているUSBメモリをポートに差し込む。
② 「ロード」フレームをクリック(↵)するとアップデートファイルのバージョン番号がロードフレームの右側の窓に表示されます。
③ 「Start」フレームをクリック(↵)するとアップデートが開始されます。
④ アップデートが完了すると、メッセージボックスが表示されますので、ボックス内の「OK」をクリック(↵)します。DVRは自動的に再起動します。

注意
アップデートはハードディスクを搭載しHDDが正常に動作していることを確認してから実施してください。

注意
アップデートの途中でUSBメモリを抜いたり電源を落としたりするとDVRに重大な損傷を与えます。絶対にしないでください。

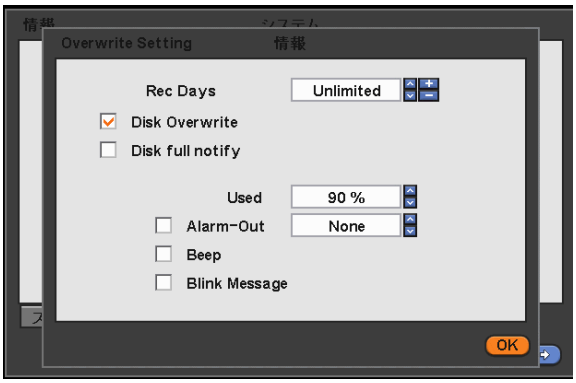
記録

• 「記録」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

• 録画の開始と終了日時が表示されます。

上書き設定

• 「上書き設定」ボタンをクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



• 録画する最大日数を指定します。1日から30日までと無制限（Unlimited）を選択できます。デフォルトはUnlimitedです。
• HDDの使用量が指定値を超えたときの警告方法を設定します。
• 「Disk Overwrite」にチェックを入れると上書きモードに設定できます。
  – 上書きモードはHDDが録画データでいっぱいになると最も古いデータから順に上書きしながら録画を継続する機能です。上書きモードに設定すると次のアイコンがライブモード画面の下部に表示されます。
  ① 「Disk Overwrite」のチェックを外すとHDDが録画データでいっぱいになると録画を停止する機能です。
  ② 上書きモードの設定を外して使用すると、録画中はライブモード画面の下部に のアイコンが表示され、HDDがいっぱいになると アイコンに切り替わり録画が停止します。
  ③ HDDの記録モードを変更しようとすると警告メッセージが表示されます。「OK」をクリック(↵)してモードを変更します。
• 「Disk full notify」の項目にチェック(☑)を入れると指定した条件で警告を出すことができます。
  ① **Used**
    – 警告を出すHDDの使用量を設定します。使用量は50～100%.の間で指定できます。
  ② **Alarm-Out**
    – 「Alarm-Out」の項目にチェック(☑)を入れると、HDDの使用量が指定の値を超えたときアラームアウトから警報信号を出力します。
  ③ **Beep**
    – 「Beep」の項目にチェック(☑)を入れると、HDDの使用量が指定の値を超えたときブザー音で知らせます。
  ④ **Blink Message**
    – 「Blink Message」の項目にチェック(☑)を入れると、HDDの使用量が指定の値を超えたとき「Disk Used(xx%)!」のメッセージを画面上に点滅表示します。

（メモ）
HDDがいっぱいになったことを知らせるメッセージが出ても録画はそのまま継続され、HDDが完全にいっぱいになったところで録画を停止します。

（メモ）
アラームアウトの設定は 設定>デバイス>アラームアウト で行います。

全データ消去

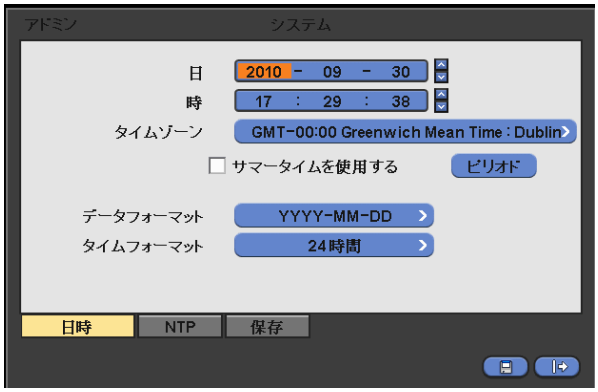
• 録画したデータを全て消去することができます。次の手順に従って実行してください。
  ① 「全データ消去」フレームをクリック(↵)します。
  ② 確認メッセージ画面で「OK」をクリック(↵)します。
  ③ 作業進行グラフが表示され消去作業が始まります。
  ④ 全てのデータが消去されると、システムログも消去するか確認するメッセージが表示されます。
  ⑤ 「Ok」をクリック(↵)システムログが削除されます。

（メモ）
全てのデータが削除されるまで数分かかります。

• システムメニューの設定を終了し、設定画面に戻るには「OK」ボタンをクリック(↵)します。

4.2.2 アドミン

• システム＞アドミンとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



日時

日

• 現在の年月日を正しく調整します。

• 調整は次の手順に従って行ってください。

① 調整する年、月あるいは日をクリック(↵)すると選択された項目が強調表示されます。

② 右端にあるボタン ▲▼ をクリック(↵)して値を変更します。

③ 年月日それぞれ同様の手順で調整します。

時

• 現在の時刻を正しく調整します。調整は年月日と同じ方法で行います。

注意
新しくした日時がそれまで録画していた日時よりも前に設定されると重複する録画データは上書きされます。

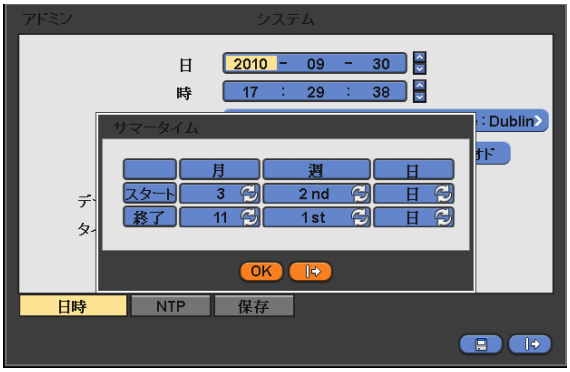
注意
日時が変更されるとライブ画面では変更がすぐに反映されますが、それまで録画されていたデータの日時は変更されません。
日時を変更した後は必ず再起動してください。再起動する前には必ずシャットダウンの手続きをしてください。(システム>シャットダウン)

タイムゾーン

• 「タイムゾーン」フレームをクリック(↵)すると表示される世界の都市のリストからDVRを設置する場所を選択します。

• サマータイムを使用する地域にDVRを設置するときは「サマータイムを使用する」の左側のチェックボックスにチェック☑を入れます。

• 「サマータイムを使用する」を選択した場合は「ピリオド」をクリック(↵)して次の画面を表示します。



• サマータイムの始まり(スタート)と終わり(終了)の日を月、週および曜日で設定します。

• 月、週および日の値をクリック(↵)して変更します。

• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

データフォーマット

• 日付表示形式を設定します。データフォーマットフレームをクリック(↵)し形式リストから選択します。

タイムフォーマット

• 時刻表示形式を設定します。タイムフォーマットフレームをクリック(↵)し形式リストから選択します。

NTP

• 「NTP」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

• DVR内部の時計を正確に保つための設定を行います。
• 「サーバ有効」か「NTP使用」のどちらかにチェック☑を入れます。
  – **サーバ有効:** DVRがインターネットに接続されておらずNTPが利用できないときに選択します。
  – **NTP使用:** インターネットを通じて接続したタイムサーバとDVRの内部時計を同期させます。

NTPサーバ

• NTPサーバのフレームをクリック(↵)すると表示されるキーボードでNTPサーバのIPアドレスを入力します。

(メモ)
デフォルトでは pool.ntp.org のNTPサーバのIPアドレスが設定されていますが、任意のNTPサーバを自由に設定できます。

周期

• NTPサーバに接続する周期を設定します。1時間から24時間の間で設定できます。

システム時計

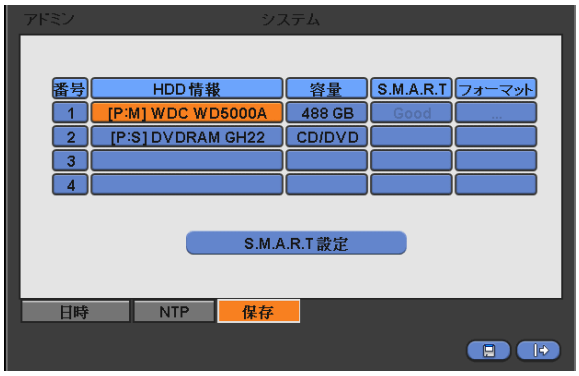
• DVRの内部時計の時刻を表示

サーバ時計

• インターネット上のNTPサーバに接続しているときに表示されます。表示されていないときは「接続」ボタンをクリック(↵)してください。
• サーバ時計の時刻が表示されているとき「同期」ボタンをクリックするとDVRの内部時計を同期させることができます。
• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

保存

• 「保存」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。
• S.M.A.R.T. (HDDの自己診断と報告に関する技術) 機能の設定を行います。



フォーマット

• 次の場合はHDDのフォーマットを実行します。
  – 新しいHDDをインストールしたとき
  – 別のHDDを追加したとき
  – HDDを取り替えたとき
  – HDDを別のポートに移動したとき
  – HDDを取り外したとき
• フォーマット欄に表示された「追加/削除」フレームをクリック(↵)するとフォーマット開始の確認画面が表示されます。「OK」をクリックするとフォーマットが開始されます。
• フォーマットに続いてDVRは再起動します。HDDが2本以上搭載されている場合はそれぞれフォーマットしてください。全てのHDDがフォーマットされるとDVRは自動的に再起動します。
• 再起動後「フォーマット」欄の表示が「---」となっていればフォーマットは正常に行われています。

注意
既に搭載されていたHDDを取り外すときも、上記と同じ方法でフォーマットしてください。

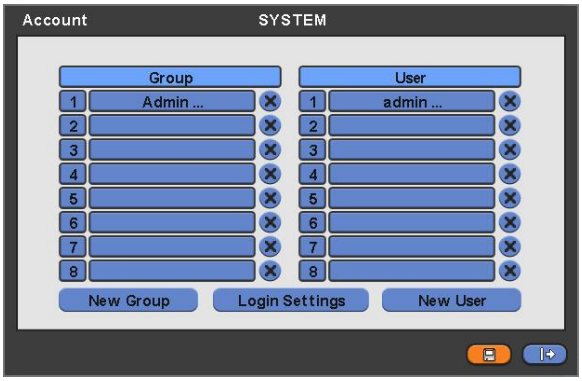
S.M.A.R.T
• 「S.M.A.R.T」はHDDの状態を診断・報告します。

S.M.A.R.T設定
• 「S.M.A.R.T設定」フレームをクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

• 「使用」のチェックボックスにチェック☑を入れると、S.M.A.R.T.機能によりHDDのダメージの程度と警告を出させることができます。
• ☑ Beep; HDDのダメージがSMARTで設定した以上になるとブザー音で知らせます。
• ☑ Blink Message, HDDのダメージがSMARTで設定した以上になると画面上に警告が点滅します。
• 「使用」のチェックを外すと自動的に「Beep」と「Blink Message」のチェックも外れます。「Beep」と「Blink Message」は「使用」のチェックが入っていないと使用できません。
• 「検査時間」をクリック(↵)してHDDを診断する時刻を設定します。
• 「検査周期」をクリック(↵)してHDDを診断する周期を設定します。
• 「最終検査時間」にはHDDを最後に診断した日時が表示されます。
• 「温度」はCPUの温度が表示している値より高くなると警告を出します。デフォルトは55℃です。変更する場合はボックス右端の▲ ▼ボタンをクリック(↵)して値を変更します。
• 「HDDダメージ」はディスクの記憶セクターの不良率が表示している値より高くなると警告を出します。デフォルトは1%です。変更する場合はボックス右端の▲ ▼ボタンをクリック(↵)して値を変更します。安定して使用するために不良率は1あるいは2%に設定することをお勧めします。
  – (+) あるいは (–) ボタンをクリック(↵)すると値の10の位が増加あるいは減少します。
• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

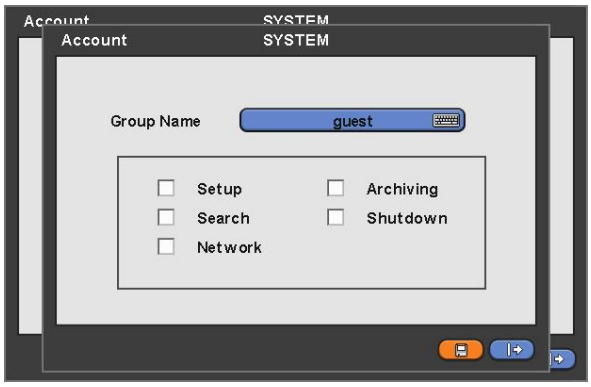
4.2.3 アカウント

• システム＞アカウントとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



新規グループ

- 「新規グループ」をクリック(↵)すると、次のような画面が表示されます。



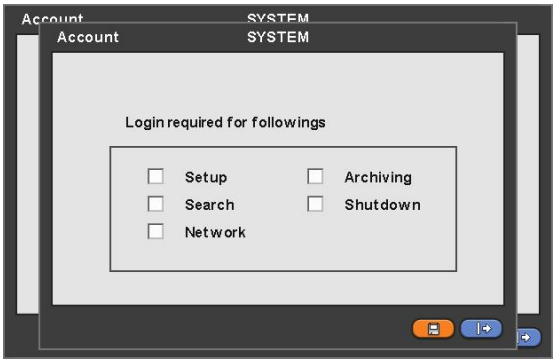
- グループ名右横のキーボードアイコンをクリック(↵)し、画面上のキーボードで希望するグループ名を設定します(最大8文字)。
- 用途に応じて、設定・検索・ネットワーク・アーカイブ・シャットダウンの項目にチェック☑を入れます。
- 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

ログイン設定

- 「ログイン設定」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。
- パスワード入力を必要とする重要な項目を指定できます。(設定・検索・ネットワーク・アーカイブ・シャットダウン)
- パスワードを設定したい項目にチェック☑を入れます。

注意
チェックの入っていない項目はパスワード入力の要求がなく、自由に操作ができます。

- 「OK」 を選択し設定内容を保存します。



新規ユーザ

- 「新規ユーザ」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。
- ユーザ名右横のキーボードアイコンをクリック(↵)し、画面上のキーボードで希望するユーザ名を設定します(最大8文字)。
- 「パスワード」を入力し、「確認」の項目で、入力したパスワードを再度入力します。

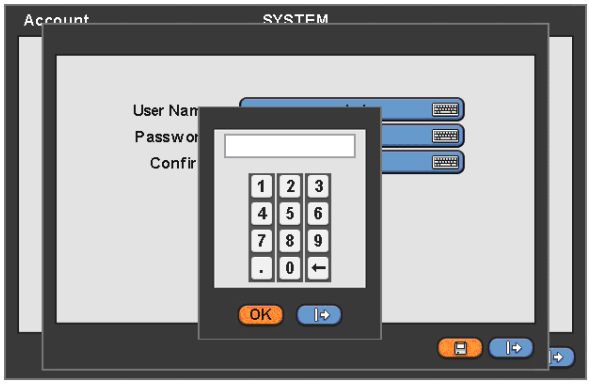
• 「OK」 をクリック(↵)し設定を終了します。グループとユーザが追加されます。

• ☒をクリック(↵)すると、グループ・ユーザーを消去できます。
• 最大8つのグループとユーザを作成できます。
• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

パスワードのリセット

• ユーザの項目で、ユーザをクリック(↵)すると、次のような画面が表示されます。

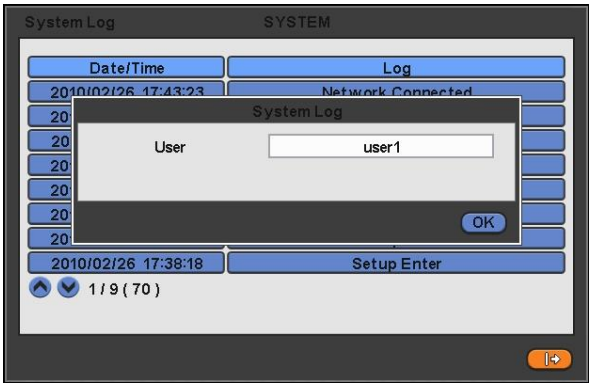
• この画面でパスワードの変更ができます。
• パスワードを変更するには、パスワードの右横のキーボードアイコンをクリック(↵)します。



パスワードを消去するには、 をクリック(↵)します。

4.2.4 システムログ

• システム＞システムログとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



• システムログで、DVRにアクセスしたユーザを指定して、下記のようなさまざまなイベントを表示できます。
  - 設定(メニュー)の操作
  - 再生操作
  - ネットワークアクセス
  - アーカイブ操作の成功・失敗
  - システムの起動・シャットダウン
  - S.M.A.R.T. チェック
  - NTP 同期操作の成功・失敗
  - 電子メール送信の成功・失敗
  - HDD 初期化の成功・失敗
  - データ消去の成功・失敗
  - USB 更新成功・失敗
  - 遠隔からのDVR設定変更
  - 時刻変更
• システムログを消去する手順は以下の通りです。
  - システム＞情報＞記録＞全データ消去 と順にクリック(↵)し、「OK」を選択します。すべてのログが消去されます。
  - 本体裏面の初期化スイッチを押します。この場合はログだけではなく、メニュー設定もすべて工場出荷時の初期設定に戻ります。

4.2.5 終了

• システム＞終了を選択し、「OK」をクリック(↵)して設定メニュー画面を終了します。

注意
変更した設定はメニューを「終了」した後に反映されます。

4.2.6 シャットダウン

シャットダウン操作を実行することで安全にDVRの電源を落とすことができます。正しくシャットダウンすることでDVRへのダメージを避けることができます。シャットダウンが終了するまで電源プラグを抜かないでください。

注意
シャットダウン操作する前に電源プラグを抜くと、DVRにダメージを与える場合があります。必ず正しくシャットダウン操作した後に電源プラグを抜いてください。

• システム＞シャットダウンを選択し、ダイアログボックスの「OK」をクリック(↵)します。
• シャットダウンを選択すると、スクリーン上のOSDメニューは消えます。
• シャットダウン後にDVRを再起動する場合は、DVRの電源を落とした後、5秒間待って再起動してください。

4.3 ディスプレイ

• ディスプレイをクリック(↵)すると、次のような画面が表示されます。

4.3.1 OSD(画面表示)

• ディスプレイ＞OSDをクリック(↵)すると、次のような画面が表示されます。

• OSDメニューでスクリーン上の文字やアイコンを表示するかしないか設定ができます。
• 文字とアイコンの内容は、「システム」と「カメラ」のメニュー項目で変更できます。「全て」にチェックを入れると、一度にすべての項目のオン/オフを変更できます。

OSDマージン(表示位置)

• OSDマージン項目でモニタ上に表示される文字の表示位置を変更できます。文字がモニタ画面の外にはみ出てしまうようなときに位置を調整します。
• 「水平」の欄でモニタ左右端と文字のマージンを調整できます。マージンの選択幅は0から50の間です。値が大きいほど、マージンが大きくなります。
• 「垂直」の欄でモニタ上下端と文字のマージンを調整できます。マージンの選択幅は0から50の間です。値が大きいほど、マージンが大きくなります。
• (+)(−)をクリック(↵)すると10の位を変更できます。

De-Interlace(インターレース解除)

• 録画再生するときのスキャン方式をプログレッシブスキャンかインターレーススキャンにするか設定することができます。De-Interlaceにチェック(☑)を入れると、プログレッシブスキャンとなり、より高画質で再生されます。

透明度

• 「透明度」のメニュー項目でモニタに表示されるメニュー画面の透明度を設定できます。メニュー画面の透明度とは表示されているカメラ映像がメニュー画面を透かして見える程度を示します。
• 透明度の選択幅は0から100の間です。値が大きいほど透明度が増します。初期設定は0です。
• (+)(−)をクリック(↵)すると10の位を変更できます。

4.3.2 メインモニタ

• ディスプレイ＞メインモニタとクリック(↵)すると、次のような画面が表示されます。

• メインモニタメニューでメインモニタによるシーケンス表示の切換時間を設定できます。

全画面

• 全画面表示によるシーケンスの転換時間を設定します。
• シーケンス表示させたいカメラのチェックボックスにチェックを入れます。チェックの入っていないカメラはシーケンス表示されません。
• 転換時間の項目をクリックし時間を設定してください。クリック毎に3＞5＞10＞15＞30＞60秒のいずれかに変更・選択できます。

4.3.3 スポットモニタ

• ディスプレイ＞スポットモニタとクリックすると、次のような画面が表示されます。

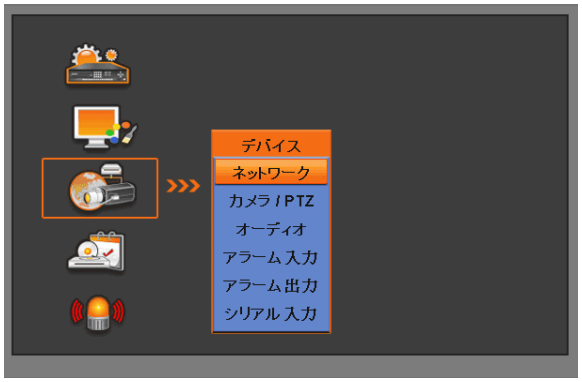
• このメニュー項目でスポットモニタのシーケンス転換時間を設定します。
• 「スポットセレクト」をクリック(↵)し設定するスポットモニタを選択します。シーケンス表示させたいカメラのチェックボックスにチェックを入れます。
• チェックの入っていないカメラはシーケンス表示されません。
• 転換時間の項目をクリック(↵)し時間を設定してください。クリック毎に3＞5＞10＞15＞30＞60秒のいずれかに変更・選択できます。

4.3.4 ディスプレイ上でスポットモニタを制御

• マウスの右クリックでメニューを表示した時、「スポット」をクリックする毎に、SP・SP1・SP2・SP3と順番にメインモニタ右下に表示されます。SP3表示時に「スポット」をクリックすると、表示が消えスポットモニタ制御モードから出ます。
  – SP モード: 「スポットモニタ」で設定したシーケンスが実行されます。
  – SP1 モード: スポットモニタ1で表示されるチャンネルはチャンネルボタンを押して変更します。SP1モードでシーケンス表示は停止します。
  – SP2 モード: スポットモニタ2で表示されるチャンネルはチャンネルボタンを押して変更します。SP2モードでシーケンス表示は停止します。
  – SP3 モード: スポットモニタ3で表示されるチャンネルはチャンネルボタンを押して変更します。SP3モードでシーケンス表示は停止します。

4.4 デバイス

• デバイスをクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



4.4.1 ネットワーク

• デバイス＞ネットワークとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

LAN

ネットワークタイプ

• ネットワークタイプをクリック(↵)するたびに、STATICとDHCPが交互に表示されます。

• Staticを選択したときはユーザがIPアドレスを入力します。

– IPアドレス、サブネット、ゲートウェイを入力します。詳細はネットワーク管理者にお尋ねください。

各項目の横のキーボードアイコンをクリックしアドレスを入力します。

• DHCPを選択した場合は、IPアドレス、サブネットマスクおよびゲートウェイはDNSサーバが自動的に入力します。

DNSサーバ

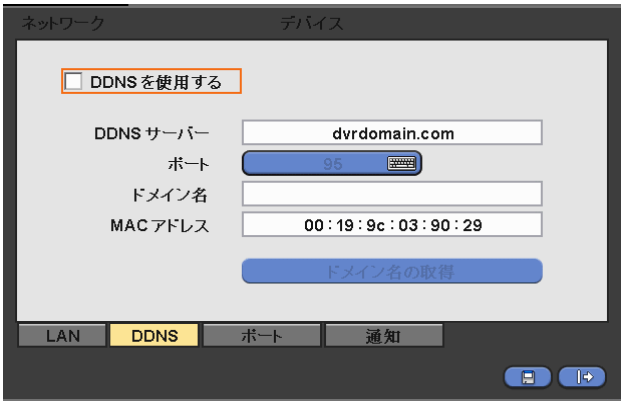
• ネットワークタイプにDHCPを選択した場合、DNSサーバが自動的に入力します。

• ネットワークタイプにStaticを選択した場合、DNSサーバ項目の横のキーボードアイコンをクリックしてアドレスを入力します。

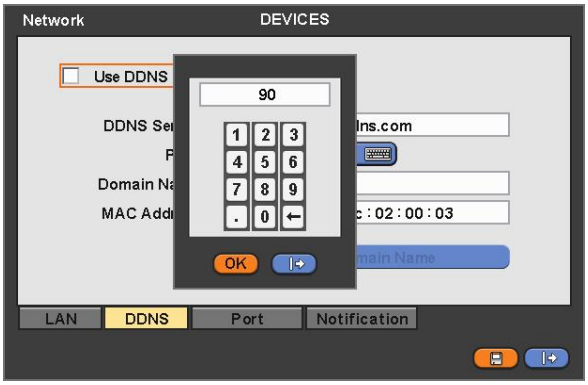
注意
DNSサーバのアドレスはお客様にインターネットサービスを提供している会社のネームサーバのアドレスです。DDNSアドレスサービスを提供するサイトではありません。

DDNS

• DDNSをクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



• フローティングIPシステムは以前インターネットで良く利用されましたが、ユーザがアクセスするたびにアドレスが変わり不便でした。DDNSはIPアドレスの代わりにドメイン名が用いられ、自動的にアドレスの変化を認識し対応するため便利です。
• DDNSを使用するには、「DDNSを使用する」にチェック☑をいれてください。
• DDNSサーバの項目には、dvrdomain.comが初期設定で入力されています。
• ポートの項目には、95が初期設定で入力されています。95が不適の場合、販売店にお問い合わせください。



• 「ドメイン名の取得」をクリックすると、ドメイン名とMACアドレスが約10秒後に自動的に表示されます。
「OK」 を選択し設定内容を保存します。

ポート

• 「ポート」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

• 電送速度はDVRとクライアントPC間の伝送平均スピードを設定します。
• 現状のネットワーク状態でクライアントPCがDVRの録画データを再生するとき最も良い状態になるよう適切な伝送速度を設定します。

• 次の14通りの伝送速度が選択できます。 26 kbps, 128 kbps, 256 kbps, 512 kbps, 1 Mbps, 2 Mbps, 4 Mbps, 8 Mbps, 10 Mbps, 20 Mbps, 40 Mbps, 80 Mbps, 100 Mbps, Unlimited(初期設定). (bps: bit per second)
• 「フレームズ」と「画質」ボタンで、映像の伝達フレーム数と画質を次のように設定できます。
  – フレームズ : 1, 2, 3, 4, 5, 7, 15フレーム
  – 画質 : Std. 1, Std. 2, Std. 3, Std. 4 (標準), High 1, High 2, High 3, Super 1, Super 2, Super 3
• ポート設定で管理者・映像音・Webそれぞれのポートを設定できます。
• ポート設定についてはCMSプログラムと併せてネットワーク管理者の許可を得て設定してください。
• ポート番号
  – **管理者:** 5000～65535
  – **映像 / 音声:** 5000～65535
  – **Web:** 1～65535

注意
パソコン上のCMSプログラムからDVRにアクセスしている際はポート番号を変更できません。

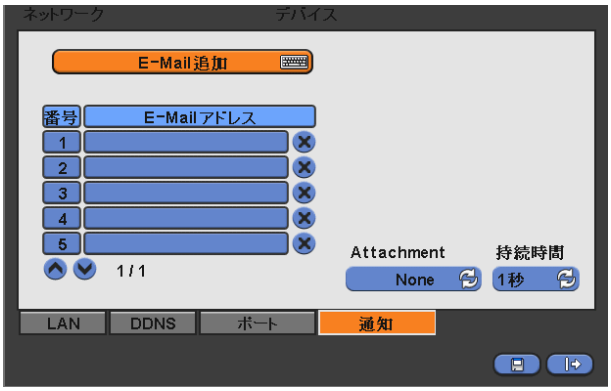
注意
変更が反映されるのは設定を終了させた後になります。

注意
ポート番号を変更したときは同時にCMSプログラムに設定したポート番号も変更してください。

• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

通知

• 「通知」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

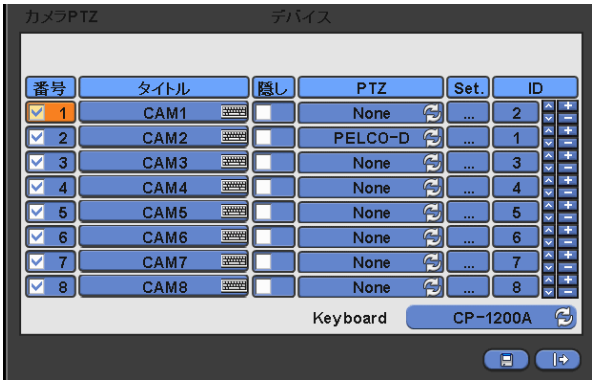


• 通知メニューでイベントが発生したことをユーザにEメールで通知する設定をします。
• 「E-Mail追加」をクリック(↵)し、画面上のキーボードでEメールアドレスを入力します。Eメールアドレスには必ず@が付きます。
• イベントが起きたとき指定されたメールアドレスにメールを送信できます。送信する映像データの形式を「Attachment」でJPEG・VIDEO CLIP・Noneのいずれかから選択します。VIDEO CLIPを選択したときは録画の「持続時間」を選択します(1・3・5秒)。

注意
ネットワークの状態によっては、この機能で適切に送信できないメールサーバがあります。

4.4.2 カメラPTZ

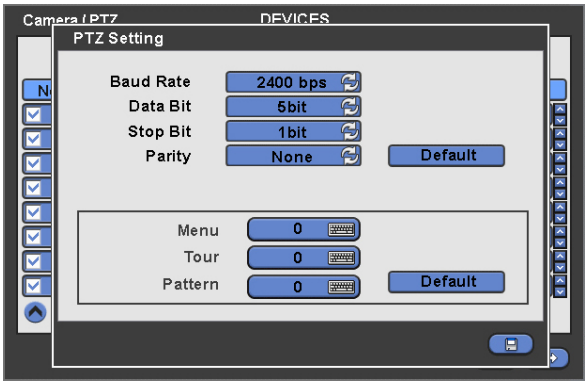
• デバイス＞カメラ/PTZとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



- タイトル欄のキーボードアイコンをクリック(↵)し、カメラのタイトルを入力します。
- 番号欄にチェック☑の入っているカメラの映像は、録画されモニタにも表示されます。チェックの入っていないカメラは、録画も表示もされません。

> **注意**
> 録画と表示をしたくないカメラがいくつかあるときはチャンネル番号の大きいカメラからチェックを外します。

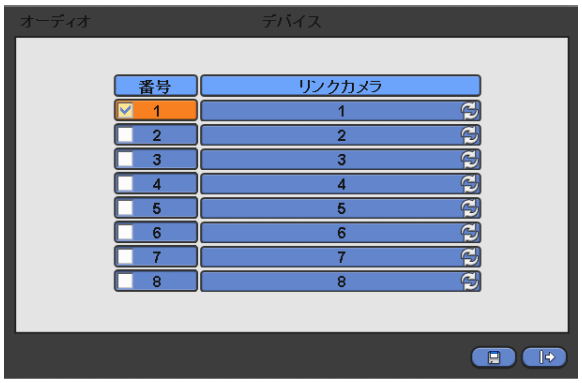
- 「隠し」にチェックが入っているとき録画はされますがモニタに映像が表示されません。
- 「PTZ」欄をクリック(↵)して該当するカメラ番号に接続されたPTZカメラの制御プロトコルを変更します。
- 「Set」欄をクリック(↵)して該当するカメラ番号に接続されたPTZカメラの設定を変更します。



- 「デフォルト」をクリック(↵)すると、一般的なPTZの設定値が自動的に表示されます。設定内容を確定するには「OK」を選択します。
- Menu・Tour・PatternでPTZカメラのOSD機能の設定を行います。
  - 一般的にPTZカメラは独自のOSDメニューを持っています。このOSDメニューを利用してDVRでも簡単にPTZカメラを制御できます。
  - 例えばOSDメニューに入るコマンドが 95 + PSET の場合は「メニュー」項目に95を割り当てます。
  - Tour機能のショートカットキーが 71～79 + PSETの場合は「Tour」項目に70を割り当てます。
  - Pattern機能のショートカットキーが 81～89 + PSETの場合は「Pattern」項目に80を割り当てます。
  - ここでの設定は後述する5.1.5パンチルトコントロールで必要になります。
  - 「デフォルト」をクリック(↵)すると一般的な設定が自動的に入力されます。（Menu: 95, Tour: 70, Pattern: 80）
  - さらに詳細な設定内容についてはPTZカメラの取扱説明書を参照してください。
- ID項目の▲▼ボタンをクリック(↵)して、各PTZカメラのID番号（0～9999）を設定します。
- (+) (−)をクリック(↵)すると10の位を変更できます。
- 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.4.3 オーディオ

- デバイス＞オーディオとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



- 「オーディオ」メニューで録音するかどうかを設定します。
- 番号の欄にチェック☑の入っているカメラは録音と録画をします。チェックの入っていないカメラは録音をしません。
- 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.4.4 アラームイン

- デバイス＞アラームインをクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

- 「アラームイン」メニューでアラーム入力の接点信号形式を設定します。
- タイトル欄のキーボードアイコンをクリック(↵)しアラーム入力の名称を登録します。
- 「番号」欄のチェックボックスにチェック☑が入れるとアラーム入力が有効になります。チェックが入っていない場合はアラーム入力は作動しません。
- 「タイプ」項目をクリック(↵)し、アラーム入力信号の形式を設定します。
  - **NO:** ノーマルオープン（通常は開いていてアラーム状態で閉じる）
  - **NC:** ノーマルクローズ（通常は閉じていてアラーム状態で開く）
- クリックする毎に信号形式（タイプ）が交互に変わります。
- 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.4.5 アラームアウト

- デバイス＞アラームアウトとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。
  「アラームアウト」メニューでアラーム出力の名称、信号形式および継続時間の設定ができます。

- タイトル欄のキーボードをクリック(↵)し、アラーム出力の名称を登録します。
- 「番号」欄のチェックボックスにチェック☑を入れるとアラーム出力が有効になります。チェックが入っていない場合、アラーム出力は作動しません。
- 「タイプ」項目をクリック(↵)し、アラーム出力信号の形式を設定します。
  - **NO:** ノーマルオープン（通常は開いていてアラーム状態で閉じる）
  - **NC:** ノーマルクローズ（通常は閉じていてアラーム状態で開く）
- 「タイプ」欄でクリックする毎に信号形式（タイプ）が交互に変わります。「持続時間」欄でクリックする毎にアラーム出力の継続時間が変わり選択できます。
- 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.5 記録（録画）

- 「記録」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

4.5.1 設定

- 記録＞設定とクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

• 録画は次の3種類のモードで行うことができます。
  – **連続:** 連続して録画します。
  – **イベント:** センサ/モーションが作動したときに録画します。

緊急: 緊急録画ボタンを押したときに録画します。

連続

• 「連続」メニューで連続録画条件の設定を行います。
• 表示されているタイトル名は、デバイス＞カメラ/PTZで登録されたタイトル名です。ここでタイトルの変更はできません。
• 解像度の項目をクリック(↵)し、各カメラの解像度を選択・指定します。次の3種類の解像度が選択できます。**720x480, 720x240 および 360x240**
• フレームレートの項目をクリック(↵)し、各カメラの録画速度を設定します。カメラ毎に異なる速度を設定できます。下表は解像度ごとに全てのカメラを合計した最大フレームレートを示しています。

	360x240	720x240	720x480
4 チャンネル DVR	120	120	60

• 「画質」の欄をクリック(↵)し、画質を設定します。Super（最高）・High（高）・Std（標準）の3種類の画質のから選択できます。
• 解像度、フレームレート、画質の各項目はクリックする毎に別の値に変わります。
• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

イベント

• 「イベント」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

• 「イベント」メニューでイベント録画条件の設定を行います。
• 表示されているタイトル名は、デバイス＞カメラ/PTZで登録されたタイトル名です。ここではタイトルの変更はできません。
• 解像度の項目をクリック(↵)し、各カメラの解像度を選択・指定します。次の3種類の解像度が選択できます。**720x480, 720x240 および 360x240**
• フレームレートの項目をクリック(↵)し、各カメラの録画速度を設定します。カメラごとに異なる速度を設定できます。下表は解像度ごとに全てのカメラを合計した最大フレームレートを示しています。

NTSC	360x240	720x240	720x480
4 チャンネル DVR	120	120	60

• 「画質」の欄をクリック(↵)し、画質を設定します。Super（最高）・High（高）・Std（標準）の3種類の画質のから選択できます。
• 「持続時間」の欄をクリック(↵)し、イベント録画を継続する時間を設定します。カメラごとに異なる時間（1秒～3時間）を設定できます。
• 解像度、フレームレート、画質、持続時間の各項目はクリックする毎に別の値に変わります。

• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

緊急

• 「緊急」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。
• 「緊急」メニューで緊急録画条件の設定を行います。
• 表示されているタイトル名は、デバイス＞カメラ/PTZで登録されたタイトル名です。ここではタイトルの変更はできません。

• 解像度の項目をクリック(↵)し、各カメラの解像度を選択・指定します。次の3種類の解像度が選択できます。**720x480, 720x240 および 360x240**
• フレームレートの項目をクリック(↵)し、各カメラの録画速度を設定します。カメラごとに異なる速度を設定できます。下表は解像度ごとに全てのカメラを合計した最大フレームレートを示しています。

NTSC	360x240	720x240	720x480
4 チャンネル DVR	120	120	60

• 「画質」の欄をクリック(↵)し、画質を設定します。Super（最高）・High（高）・Std（標準）の3種類の画質のから選択できます。
• 「持続時間」の欄をクリック(↵)し、緊急録画を継続する時間を設定します。カメラごとに異なる時間（1秒～3時間）を設定できます。
• 解像度、フレームレート、画質、持続時間の各項目はクリックする毎に別の値に変わります。
• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.5.2 スケジュール

• 記録＞スケジュールとクリック(↵)します。
• 時間は1時間ずつ00～23まで、合計24のブロックに分かれています。
• 「カメラ」をクリックし、カメラ番号「1」を選択します。
• 下記の手順に従って録画モードを設定してください:
① スケジュール画面下側のチェックボックス（連続、アラーム入力、モーション、プレアラーム）に設定したい録画モードを選びチェックを入れます。録画をしない場合は全てチェックを外します。
② 1コマ、列（S～H）、行（00～23）および、すべて（Sと00の間）のいずれかをクリック(↵)し、選択した録画モードを設定します。
– 1コマをクリック(↵)すると、その1コマだけ選択した録画モードが設定されます。
– 1列(S～H)をクリック(↵)すると、その1列（曜日）だけ選択した録画モードが設定されます。
– 1行(00～23)をクリック(↵)すると、その1行（時間）だけ選択した録画モードが設定されます。
– 表の左上端のコマ（Sと00の間）をクリック(↵)すると、全ての曜日と時間に選択した録画モードが設定されます。

• カメラ番号「2」（2～16）を選択し同様に録画モードを設定します。すべてのカメラを同じ設定にするときは「全てのカメラにコピー」をクリック(↵)します。

• 表示されるシンボルは下記の録画モードを表しています。

C 連続録画

A アラーム録画

A+ アラーム録画+連続録画

A** アラーム録画+プレアラーム録画

M モーション録画

M+ モーション録画+連続録画

M** モーション録画+プレアラーム録画

MA モーション録画+アラーム録画

M+A モーション録画+アラーム録画+連続録画

M**A モーション録画+アラーム録画+プレアラーム録画

• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

(メモ)
休日(H)の設定は別のメニューで設定します。

4.5.3 プレアラーム

• 記録＞プレアラームとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。
• 録画モードをアラームかモーションに設定してあるときプレアラームは効果的に働きます。
• プレアラームはアラームの入力、あるいはモーションを検知する一定時間前の映像から録画する設定です。

• タイトル名は、デバイス＞カメラ/PTZで登録されたタイトル名です。ここではタイトルの変更はできません。
• 解像度の項目をクリック(↵)し、各カメラの解像度を選択・指定します。次の3種類の解像度が選択できます。**720x480, 720x240 および 360x240**
• フレームレートの項目をクリック(↵)し、各カメラの録画速度を設定します。カメラごとに異なる速度を設定できます。下表は解像度ごとに全てのカメラを合計した最大フレームレートを示しています。

NTSC	360x240	720x240	720x480
4 チャンネル DVR	120	120	60

• 「画質」の欄をクリック(↵)し、画質を設定します。Super(最高)・High(高)・Std(標準)の3種類の画質のから選択できます。
• 「持続時間」の欄をクリック(↵)し、緊急録画を継続する時間を設定します。カメラごとに異なる時間(1秒～3時間)を設定できます。
• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.5.4 モーション検知

• 記録＞モーション検知とクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

- モーション検知メニューでモーション検知条件を設定します。
- ブロック内でクリック(↵)すると検知ブロックは非検知ブロック、非検知ブロックは検知ブロックへと交互に変化します。
- 本体前面の「MENU」ボタンあるいはマウスの右クリックで設定メニューを表示します。
- 設定メニューの内容は以下の通りです。
  - **カメラ**: 設定するカメラ番号を指定
  - **感度**: 感度を選択（低、中、高）
  - **上下反転**: カーソルがあるブロックの上下（列）のブロックを全て反転
  - **左右反転**: カーソルがあるブロックの左右（行）のブロックを全て反転
  - **全て選択**: 全てのブロックを検知ブロック化
  - **選択解除**: 全てのブロックを非検知ブロック化
  - **全てのカメラにコピー**: 全てのカメラに同じ設定をコピー、「保存」をクリック(↵)して設定を保存
  - **保存**: 設定を保存し前画面に戻る
  - **終了**: .設定の変更を無視し前画面に戻る
  - **キャンセル**: モーション設定をキャンセル
- 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.5.5 休日

- 記録＞休日とクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

- 「休日」メニューで休日を登録します。登録方法は以下の通りです。

① カレンダー内の矢印ボタンを使い、休日を設定する年と月を選択します。
  - ▶▶:次の年に移動
  - ◀◀:前の年に移動
  - ▶: 次の月に移動
  - ◀: 前の月に移動

② 休日として登録したい日をクリック(↵)します。

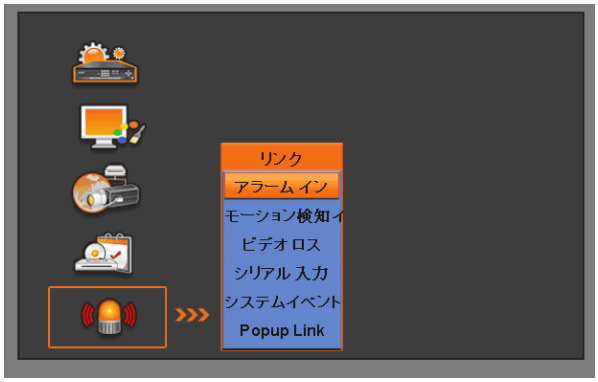
③ 画面中央（カレンダーとスケジュールの間）のボタンをクリック(↵)し、②で選択した日をスケジュールに登録します。

④ 登録した休日をキャンセルしたい場合、スケジュールの×ボタンをクリック(↵)してください。

- 休日は毎年変わる可能性があるので、適宜設定しなおしてください。
- 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.6 リンク

• 「リンク」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



• 「リンク」メニューで全てのアラーム（センサー、モーション検知、イベント、ビデオロス、システムイベントなど）、アラーム出力、Eメール通知などの設定を行います。

4.6.1 アラームイン

• リンク＞アラームインとクリック(↵)すると次の画面が表示されます。
• 選択したカメラにアラーム入力があったときアラーム出力と通知を行うEメールアドレスを設定します。
• リンク通知に表示されるEメールアドレスは、デバイス＞ネットワーク＞通知で設定されたアドレスです。
• 設定は下記の手順に従って行います。

① 「アラームイン」をクリック(↵)し、「アラーム入力１」を選択します。
② 「アラーム入力1」で録画を開始するカメラを選択します。リンクカメラの項目で選択するカメラ番号にチェック☑を入れます。2台以上カメラを選択することができます。
③ 「アラーム入力1」でアラーム出力するチャンネルを選択します。リンクアラーム出力の項目で選択するチャンネルにチェック☑を入れます。2つ以上チャンネルを選択することができます。
④ 「アラーム入力1」でメールを送信する宛先を選択します。リンク通知の項目で選択するアドレスにチェック☑を入れてください。2つ以上アドレスを選択することができます。
⑤ アラーム入力2を同様に設定します。

• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.6.2 モーションイベント

リンク＞モーション検知イベントとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

• 選択したカメラでモーション検知があったときアラーム出力と通知を行うEメールアドレスを設定します。
• リンク通知に表示されるEメールアドレスは、デバイス＞ネットワーク＞通知で設定されたアドレスです。
• 設定は下記の手順に従って行います。
① 「モーションイベント」をクリック(↵)し、「モーションイベント1」を選択します。
② 「モーションイベント1」で録画を開始するカメラを選択します。リンクカメラの項目で選択するカメラ番号にチェック☑を入れます。2台以上カメラを選択することができます。
③ 「モーションイベント1」でアラーム出力するチャンネルを選択します。リンクアラーム出力の項目で選択するチャンネルにチェック☑を入れます。2つ以上チャンネルを選択することができます。
④ 「モーションイベント1」でメールを送信する宛先を選択します。リンク通知の項目で選択するアドレスにチェック☑を入れてください。2つ以上アドレスを選択することができます。
⑤ モーションイベント2～4を同様に設定します。
• 「By Duration」をクリック(↵)すると録画の継続時間を制限できます。
• 録画継続時間は、記録＞設定＞イベントで設定します。
• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.6.3 ビデオロス

• リンク＞ビデオロスとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

• 選択したカメラでビデオロスがあったときアラーム出力と通知を行うEメールアドレスを設定します。
• リンク通知に表示されるEメールアドレスは、デバイス＞ネットワーク＞通知で設定されたアドレスです。
• 設定は下記の手順に従って行います。
① 「ビデオロス」をクリック(↵)し、「ビデオロス1」を選択します。
② 「ビデオロス1」で録画を開始するカメラを選択します。リンクカメラの項目で選択するカメラ番号にチェック☑を入れます。2台以上カメラを選択することができます。
③ 「ビデオロス1」でアラーム出力するチャンネルを選択します。リンクアラーム出力の項目で選択するチャンネルにチェック☑を入れます。2つ以上チャンネルを選択することができます。
④ 「ビデオロス1」でメールを送信する宛先を選択します。リンク通知の項目で選択するアドレスにチェック☑を入れてください。2つ以上アドレスを選択することができます。
① ビデオロス2～4を同様に設定します。
• 「No Beep」をクリック(↵)するとビデオロスによる警告ブザー音が出なくなります。全てのチャンネルでブザーが鳴らなくなります。
• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.6.4 システムイベント

• リンク＞システムイベントとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

- 緊急録画ボタンが押されたとき録画するカメラとアラームアウトを指定し、通知を行うEメールアドレスを設定します。
- リンク通知に表示されるEメールアドレスは、デバイス＞ネットワーク＞通知で設定されたアドレスです。
- 設定は下記の手順に従って行います。
  ① システムイベントの欄に表示される「緊急」は変更せずにそのままにします。
  ② 緊急録画するカメラを選択します。リンクカメラの項目で選択するカメラ番号にチェック☑を入れます。2台以上カメラを選択することができます。
  ③ 「緊急」録画でアラーム出力するチャンネルを選択します。リンクアラーム出力の項目で選択するチャンネルにチェック☑を入れます。2つ以上チャンネルを選択することができます。
  ④ 「緊急」録画でメールを送信する宛先を選択します。リンク通知の項目で選択するアドレスにチェック☑を入れてください。2つ以上アドレスを選択することができます。
- 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

4.6.5 Popup Link/ポップアップリンク(全画面表示)

• リンク＞Popup Linkとクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

• モーション検知あるいはアラーム入力があったとき全画面表示するかブザーを鳴らす、またはスポットスクリーンで全画面表示するかを指定します。

• 設定は下記の手順に従って行います。

① カメラを選択

② **Popup**: メインモニタでポップアップ表示したい場合はチェックボックスにチェック☑を入れます。

③ **Beep**: ブザー音を出したい場合はチェック☑を入れます。

④ **Spot**: スポットモニタでポップアップ表示したい場合はチェックボックスにチェックを入れます。

• 全てのカメラに同じ設定を適用したい場合は「Copy to All Cameras」をクリックします。

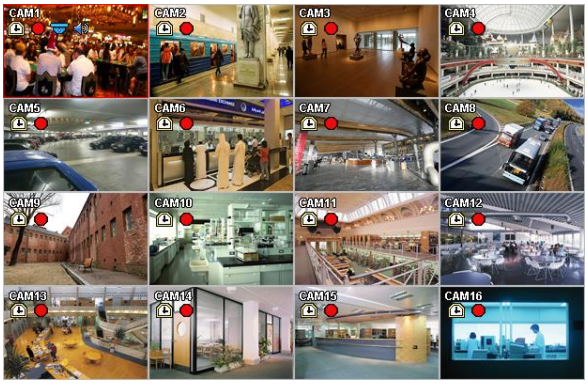
• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。

5 操作方法

5.1 映像監視

5.1.1 最初の映像

• DVRの電源を入れると次のような画面が表示されます。録画は映像表示と同時に行われます。



• スクリーンには日付と時刻、および下記のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	連続録画モード
	イベント録画モード(アラームイン/モーション)
	映像録画中
	PTZカメラ登録/PTZモード
	音声録音中
	CMSアクセス表示/アクセス数(最大数 4)
	シーケンス表示中
	HDD上書きモード
	HDD上書きモードOFF(録画中)
	HDD上書きモードOFF(HDDフルにより録画停止中)

• スクリーン右下にディスク使用量が%で表示されます。
• スクリーン左下にアイコン、、 が、左上にアイコン 、 がそれぞれ表示されます。
• 通常HDDは上書きモードのためアイコン が表示されます。
• 上書きモードがオフのときは (**4.1.2** 情報>記録>上書き設定) アイコンが表示されます。またデータがHDD容量いっぱいに書き込まれるとアイコンがに変わります。
• リモコンで「Emergency」ボタンを押すとアイコン が表示されます。
• リモコンで「Audio」ボタンを押すとアイコン が表示されます。再度押すと元に戻ります。

5.1.2 表示形式

• メインモニタによる表示形式には、全画面表示、分割表示、シーケンス表示およびPIP表示があります。
  – **全画面表示:** リモコンで各カメラ番号ボタン(1～4)を押すと対応するカメラ映像だけが1画面で表示されます。

(メモ)
マウス利用の場合は全画面表示したいカメラ映像をダブルクリックします。分割表示に戻す時は同様に画面上でダブルクリックします。

  – **分割表示:** リモコンで「DISPLAY」キーを押すと分割表示スクリーンになります。
  – **シーケンス表示:** リモコンで「SEQUENCE」キーを押すとシーケンスモード表示が開始されます。

5.1.3 デジタルズーム

- ライブモード表示のときマウスの右クリックでメニューを表示し「ズーム」を選択します。
- 方向キーでズームする場所を移動することができます。
- ズーム機能は全画面表示の時のみ有効です。

5.1.4 ライブ映像の一時停止

- ライブ映像を一時停止したいときはリモコンの「FREEZE」キーを押します。
- 一時停止機能は全画面表示か分割表示の場合に有効です。シーケンス表示やPIP表示の時に一時停止機能は動作しません。

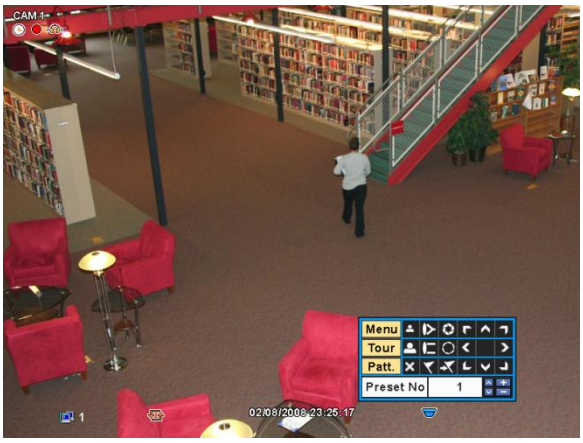
5.1.5 PTZカメラコントロール

- リモコンの「PTZ」キーを押すとDVRに接続されているPTZカメラをコントロールできるようになります。PTZモードは全画面表示のみ有効です。

- PTZモードになると、アイコン がスクリーンの下側に表示されます。
- PTZモード時に下記のキーを使用してカメラを操作できます。

ボタン	説明
▲, ▼, ◀, ▶	上下左右に回転
	ズームアウト
	ズームイン
	近くに焦点を合わせる
	遠くに焦点を合わせる
	絞りを絞る
	絞りを開ける
	プリセット位置を保存
	プリセット位置に移動
Menu	OSDメインメニューを開く
Tour	ツアーを実行1～9
Patt.	パターンを実行1～9

PTZモードでマウスを使用するときは、カーソルを画面下側の中央付近に置くか本体前面の「MENU」キーを押すと次のようなコントロール画面が表示されます。コントロール画面を閉じPTZモードを終了するには画面内の **X** をクリック(↵)します。

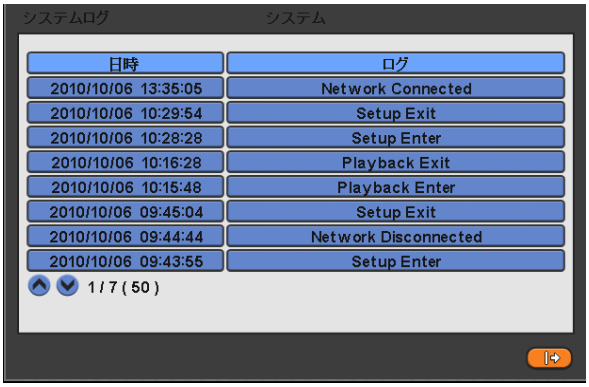


- 現在の撮影位置を保存するには「Preset No.」を指定し、アイコン をクリック(↵)します。
- プリセット位置にカメラを動かすには「Preset No」を選択し、アイコン をクリック(↵)します。
- プリセット番号（Preset No.）は1から255まで登録することができます。ただしPTZカメラの仕様によってはできない場合もあります。
- 前章 **4.4.2.**.の説明のように、コントロール画面の「Menu」ボタンをクリック(↵)しPTZカメラのOSDメニューを表示させてTourやPatternの設定を行います。
  - これらの設定はPTZカメラのOSD機能を使用するため、カメラのOSDを表示させて設定します。
  - 設定を終了したらカメラのOSDメニューを閉じます。
  - TourやPatternキーをクリック(↵)して簡単に2つの機能を実行できます。
  - 接続したPTZカメラのOSDメニュー操作の詳細については、PTZカメラの操作マニュアルをご参照ください。

（メモ）
例えばTour機能を操作するコマンドは71～79+PSETですが、Tourに70を既に設定しているとき、プリセット番号は1～9+Tourでプリセット機能コマンド70+1～9が実行できます。

5.1.6 システムログ

- リモコンの「EVENT」キーを押すと次のようなシステムログ画面が表示されます。



- 同じ画面を、設定＞システム＞システムログでも表示できます。詳細は、4.7.4 システムログを参照してください。

5.1.7 キーロック

- 「AUDIO」＞「FF」＞「FORWARD」キーを順番に押すとキーロックが有効になります。スクリーン右下に のアイコンが表示されます。
- 一旦キーロックを有効にするとキー操作ができなくなります。キーロックを解除するには、パスワードを入力します。パスワードが要求されない場合は「ENTER」(↵) キーを押します。

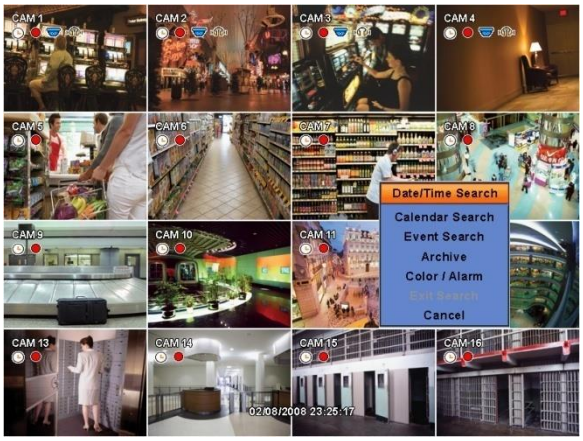
5.1.8 緊急録画

- 「EMERGENCY」キーを押すと、設定されている録画の条件にかかわらず、直ちに録画を開始します。
- 緊急録画は「設定」メニュー画面が表示されているときには実行できません。
- 緊急録画を停止するには「EMERGENCY」キーを再度押します。

5.2 検索

• 再生する録画データを検索する方法を説明します。

• リモコンの「SEARCH」キーを押すか、マウス右クリックでメニューを表示し「検索」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

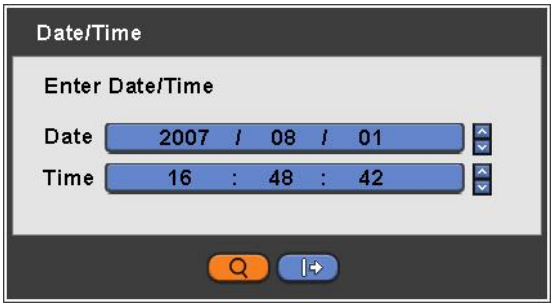


• 次の3通りの方法で検索できます。

- **日時サーチ:** 日時を入力して検索
- **カレンダーサーチ:** カレンダーを使って検索
- **イベントサーチ:** イベントによる検索

5.2.1 日時サーチ

• 「日時サーチ」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



• 日時サーチは次の手順で行います。

① 変更したい年月日あるいは時刻をクリック(↵)すると、クリックした場所に色が付き強調表示されます。

② 日付あるいは時刻の右端にある ▲▼ボタンをクリック(↵)して値を変更します。

• 「検索」ボタン をクリック(↵)すると指定した日時のビデオ映像が再生されます。

• 再生を開始すすると、途中で中止しない限り、指定した日時から最新の録画データまで再生されます。

5.2.2 カレンダーサーチ

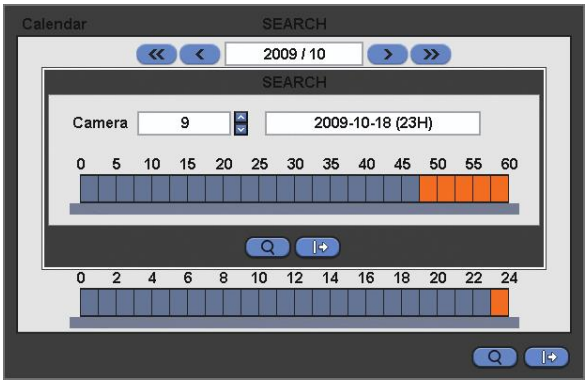
• 「カレンダーサーチ」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

• 再生可能な録画データが存在する日時は着色表示されます。

カレンダーサーチは次の手順で行います。

① カレンダー内の矢印をクリックし年と月を選択します。
- ▶▶:次の年に移動
- ◀◀:前の年に移動
- ▶: 次の月に移動
- ◀: 前の月に移動

② 日にちをクリック(↵)します。指定された日は着色され強調表示されます。
③ 時間表示ブロックの下側にあるバーをクリック(↵)すると矢印が移動して「時」が選択されます。
④ 移動してきた矢印をクリック(↵)すると「分」を示す画面が表示されます。同様に「分」を指定します。



⑤ ブロックは2分30秒ごとに区切られています。
⑥ ボタン▲▼ をクリック(↵)してカメラ番号を指定し、電卓アイコンをクリック(↵)します。
⑦ 表示された60分内に指定したカメラの映像データがあれば着色表示されます。

• 「検索」ボタン をクリック(↵)して再生を開始します。

• 再生を開始すすると、途中で中止しない限り、指定した日時から最新の録画データまで再生されます。

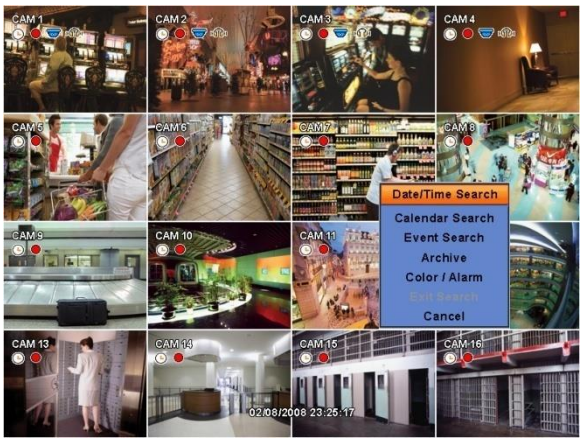
5.2.3 イベントサーチ

• 「イベントサーチ」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

① 開始時刻を設定。指定したイベントを検索する範囲を指定します。
② 終了時刻を設定。指定したイベントを検索する範囲を指定します。
③ 録画データを検索するカメラを指定。
④ チェックボックス(モーション・アラーム入力・緊急・Serial In)にチェックを入れます。
⑤ 「Search Index」をクリック(↵)しイベントデータを検索します。

5.3 再生

- 検索した映像データを再生する方法を説明します。
- リモコンの「SEARCH」キーを押すか、マウスの右クリックでメニューを表示し「検索」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。



- 次の3通りの方法で検索できます。
  - **日時サーチ:** 日時を入力して検索
  - **カレンダーサーチ:** カレンダーを使って検索
  - **イベントサーチ:** イベントによる検索
- 再生モードには次の3つの機能があります。
  - アーカイブ：録画データ（動画および静止画）を他の記憶装置（USBメモリー・DVD-RW）にコピーします。
  - 検索終了：検索を終了しライブモードに戻ります。
  - メニュー画面を終了し再生モードに戻ります。
- 再生はDVRの最大分割画面数で開始されます。画面分割数や全画面表示への切り替えは「DISPLAY」ボタンかカメラ番号ボタン（1～4）を押します。

（メモ）
マウス利用の場合は全画面表示したいカメラ映像をダブルクリックします。分割表示に戻す時は同様に画面上でダブルクリックします。

- マウスのカーソルを画面中央下に移動すると、スクリーンに操作キーが表示されます。
- 再生中はいつでもPLAY/PAUSEキーをクリックして再生 '1X PLAY' と一時停止 'PAUSE' を切り換えられます。スクリーン右下に表示されるマークはそれぞれ ▶ あるいは ⏸ となります。
- 次の表は再生モード時に使用できるボタンとスクリーン上に表示されるキーです。

Go to Start	⏮	· 録画開始位置に移動
REW	◀◀	· 逆再生（ボタンを押すごとに再生速度を x2, x4, x8, x16, x32, x64 変えられます。）
BACKWARD	◀❙	· コマ戻し再生
PLAY	▶	· 再生（1 倍速）
PAUSE	⏸	· 一時停止（ポーズ）

FORWARD	I▶	· コマ送り再生
FF	▶▶	· 早送り再生(ボタンを押すごとに再生速度を x2, x4, x8, x16, x32, x64 変えられます。)
Go to End	▶I	· 録画終了位置に移動

• リモコンの「SEARCH」キーを押して再生モードを終了します。

5.4 ワンタッチ再生

• ワンタッチ再生は検索せずに録画データを再生する機能です。最新の録画データ(1分前)を再生します。再生するにはライブモードのときにPLAY/PAUSEボタンを押すか、マウスホイール(マウス中央のボタン)をダブルクリックします。「SEARCH」キーを押して再生を終了します。

5.5 アーカイブ

• 録画データ(動画および静止画)を他の記憶装置(USBメモリー・DVD-RW)にコピーしてデータのバックアップを行う機能です。
• バックアップ作業はライブあるいは再生どちらのモードのときも実行できます。
• バックアップは次の手順で行います。

① リモコンの「ARCHIVE」キーを押すか、マウスを右クリックしアーカイブをクリックすると次のような画面が表示されます。

② フォーマットの項目をクリック(↵)してEXEかJPEGを選択します。動画の保存はEXE、静止画にはJPEGを選択します。
③ Fromの項目をクリック(↵)してコピーするデータの開始日時を指定します。
④ Toの項目をクリック(↵)してコピーするデータの終了日時を指定します。
⑤ 送先の項目をクリック(↵)してUSBかDVD-RWを選択します
⑥ ファイル名の項目をクリック(↵)してファイル名を入力します。ファイル名に拡張子(exe,jpeg)を付ける必要はありません。ファイル名を入力しないとコピーが開始されません。
⑦ コピーしたい映像のカメラ番号にチェック☑を入れます。複数選択も可能です。
⑧ 電卓ボタン をクリック(↵)してデータ容量を確認します。フォーマットがEXE形式のときだけ表示されます。
⑨ スタートボタンをクリック(↵)します。バーがあらわれ、進捗状況を表示します。ファイルのサイズにより、100%表示後もあらわれる場合があります。「Archive Success」と表示されるまでデバイスをDVRから外さないでください。
⑩ コピーが終了すると「Archive Success」と表示されます。「OK」を選択して終了します。コピーに失敗すると「Archive Fail」と表示されます。失敗した場合は再度コピーを試みてください。

(メモ)
ライブモードでアーカイブを表示している時は、JPEGフォーマットを選択しないでください。

(メモ)
バックアップ中はDVRやCMSの設定を変更しないでください。

(メモ)
コピーするファイルのサイズが2GB以上のときは「Archive Success」と表示された後に再度 を押してください。DVRは続いてバックアップを実行します。新しいファイルには拡張子「-002」が自動的に追加されます。DVDをバックアップに使用した場合は1枚目のDVDが終了しDVDメディアを新しいものと交換した後に を押してください。

注意
ファイル名にはスペースを入れないでください。

注意

バックアップが進行している間は記録装置の取り外しおよび電源の切断はしないでください。DVRや記憶装置に重大な損傷を与える可能性があります。誤って実行した場合はDVRを再起動してください。DVRが正常に作動しないときはファイルシステムリカバリーあるいはHDDの初期化が必要になるかもしれません。

5.6 メニューバー

• 前面パネルボタンと同じようにOSDスクリーンのメニューバーで全ての機能を操作できます。

• マウスカーソルを画面下側の日時表示付近へ動かすとメニューバーが表示されます。

• 各アイコンの機能は次の通りです。

: メニューバーを閉じる

: DVRの電源を安全に切断

: アーカイブモードに移動

: PTZコントロールモードに移動

: 設定モードに移動

: カメラの1つを全画面表示。クリックする毎に表示するチャンネルを順番に変更

: 4分割画表示。クリックする毎に表示するチャンネルを順番に変更

: 8分割画面表示。クリックする毎に表示するチャンネルを順番に変更

: 16分割画面表示

: 設定メニューでスポットモニタに設定したシーケンス表示を実行

: スポットモニタ1に表示されているチャンネルをチャンネルボタンで変更。シーケンス表示は停止

: スポットモニタ2に表示されているチャンネルをチャンネルボタンで変更。シーケンス表示は停止

: スポットモニタ3に表示されているチャンネルをチャンネルボタンで変更。シーケンス表示は停止

: ワンタッチ再生

: カレンダーサーチに移動

: 日時サーチに移動

: イベントサーチに移動

: 現在の日付と時間

5.7 カラー調整と表示位置

• 検索メニューの「カラー/アラームアウト」をクリック(↵)すると次のようなメニュー画面が表示されます。

(メモ)
この機能は全画面表示ライブモードのときだけ使用できます。

• 「デフォルト」をクリック(↵)すると適切なカラーコントロールとHSART/VSTART値が自動的に表示されます。「OK」を選択して設定を終了します。
• 数値欄の右にある上下方向ボタン▲▼をクリック(↵)して輝度/コントラスト/彩度を調整します。(0 ～ 255)。
• HSTART/VSTART値の右にある上下方向ボタン▲▼をクリック(↵)してディスプレイの位置を調整します。
• 同じ設定をすべてのカメラに適用するときは「全てのカメラにコピー」をクリック(↵)します。
• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。。

5.8 アラームアウトコントロール

• 検索メニューの「カラー/アラームアウト」をクリック(↵)すると次のような画面が表示されます。

(メモ)
この機能は分割表示ライブモードのときだけ使用可能です。

• アラーム信号を出力するチャンネル番号のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

• 「OK」 を選択し設定内容を保存します。。

CMSモバイルビュワー

取 扱 説 明 書

この取扱説明書には一部準備段階の内容が含まれており、予告無く変更されることがあります。

12　スマートフォン用監視ソフト

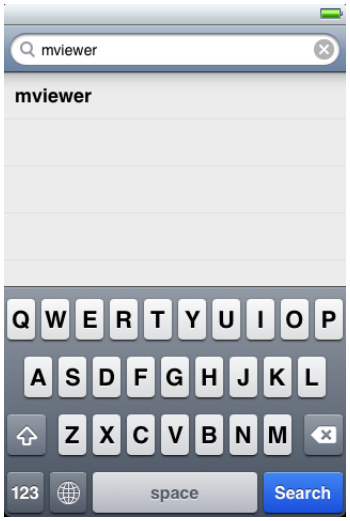
12.1 iPhone

12.1.1 動作環境

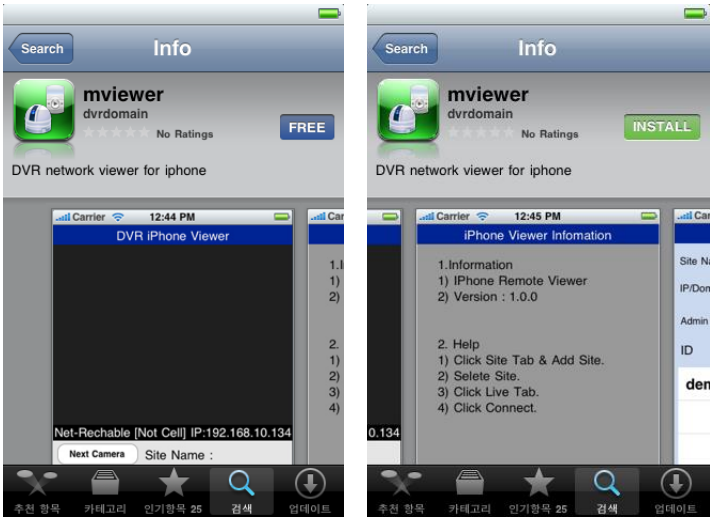
- iPhone （このソフトはiPhone専用ソフトです。）

12.1.2 インストール

- iPhoneを起動してアップルストアに接続します。



- 検索メニューに移動し“mviewer”と入力して“Search”をクリックします。

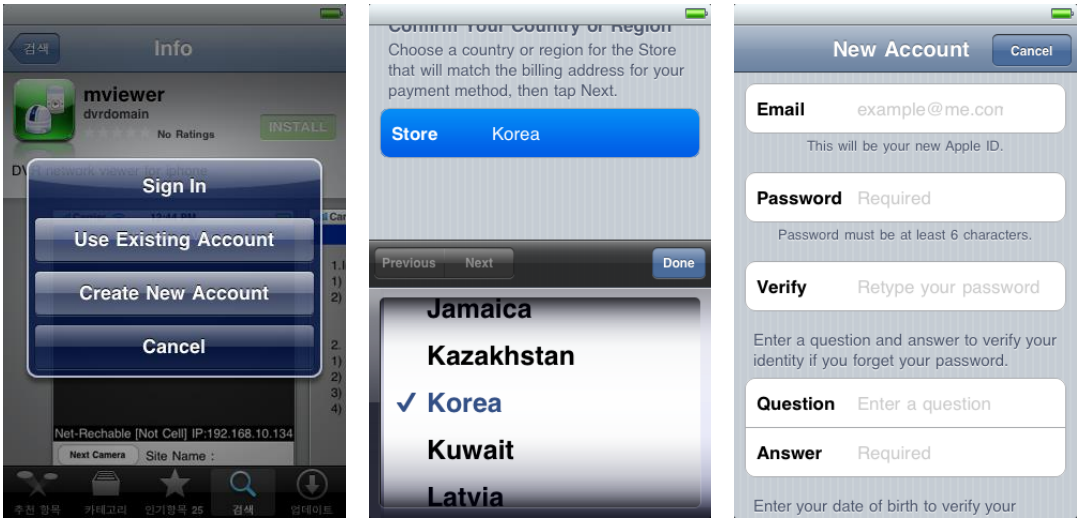


• プログラム “ ” を選択します。このソフトはdvrdomainからフリーソフトとして提供されています。

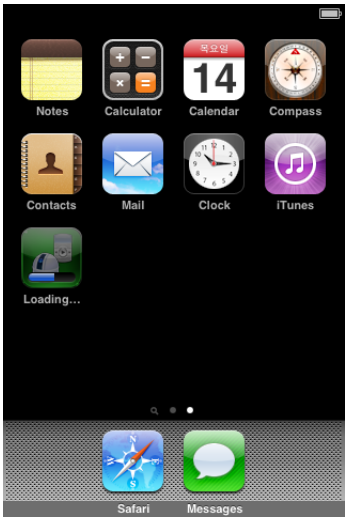
• ボタン “ ” をクリックすると、ボタンは “ ” に変わります。

• ボタン “ ” をクリックしてインストールを開始します。

• 既にiTunesのアカウントをお持ちでしたら、アカウントのパスワードを入力してプログラムをダウンロードできます。



• アカウントがない場合は、ボタン “ ” をクリックしアカウントを作成します。



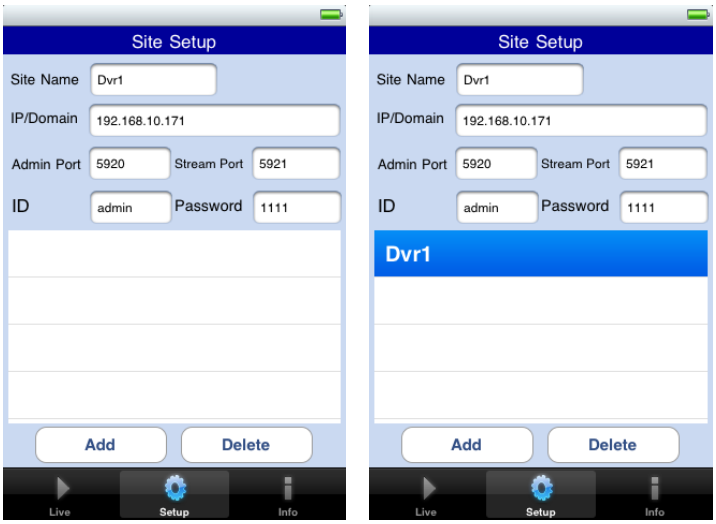
• アカウントが作成されるとプログラムが自動的にインストールされます。

12.1.3 サイト（DVR）の登録

• iPhoneのアイコン “ ” をクリックすると下の画面が開きます。

• 設定ボタン “

” で設定画面に移動しDVRに設定したアドレス情報と同じ内容を入力します。

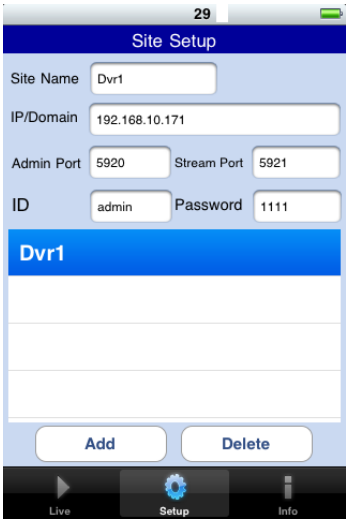


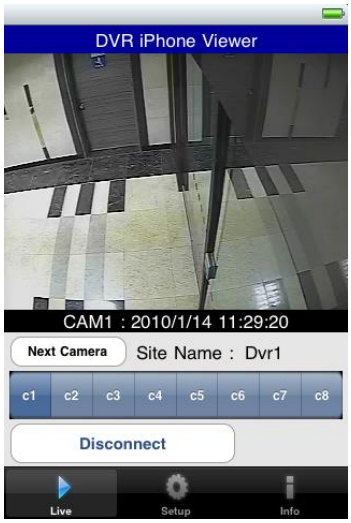
• DVR名とIPアドレスあるいはDDNSアドレスを入力。
• Admin/Stream の両ポート番号を入力。

• ID/Passwordを入力

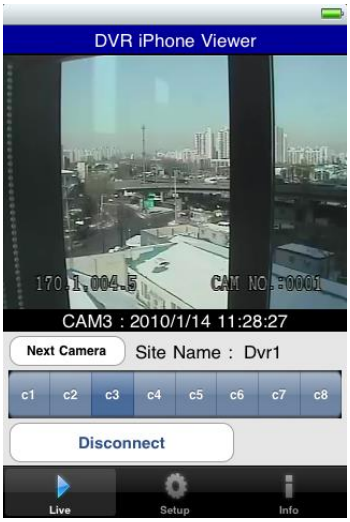
• 追加ボタン “ Add ” をクリックして設定を保存します。

12.1.4 接続





• “ Setup ” ウィンドー内の登録したDVRをクリックし、次に“ Live ”をクリックします。

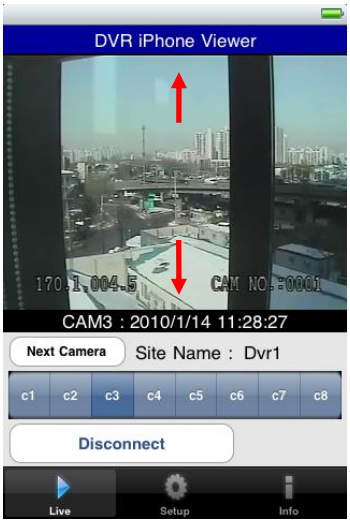


• 別のチャンネルを選択するには、DVR名の下のチャンネルをクリックします。

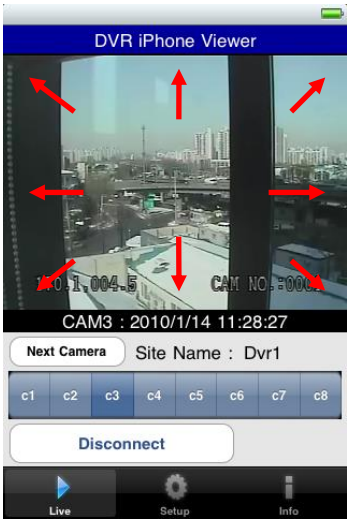
• チャンネル9-16を選択する場合は “ Next Camera ”をクリックします。

12.1.5 PTZカメラコントロール

• iPhoneの画面に触れることでPTZカメラをコントロールすることができます。

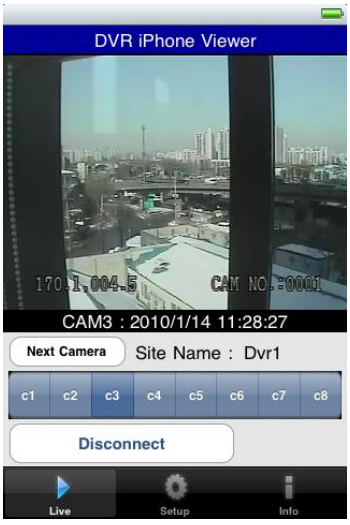


- 画面の中央から上方向にドラッグするとズームアウトします。
- 画面の中央から下方向にドラッグするとズームインします。



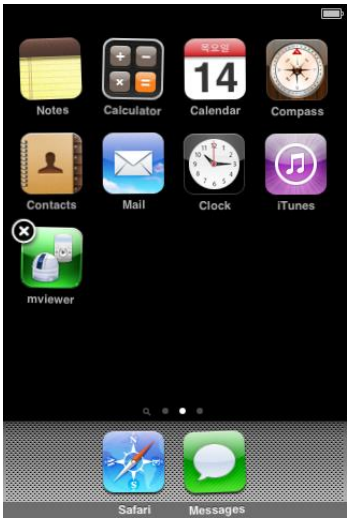
- 画面の横や角に触れてカメラの方向を変えることができます。
- 右側に触れるとカメラは右方向に、左側に触れるとカメラは左方向に向きを変えます。
- 上側に触れるとカメラは上方向に、下側に触れるとカメラは下方向に向きを変えます。
- 同様に画面の4隅に触れてもカメラの方向を変えることができます。

12.1.6 切断

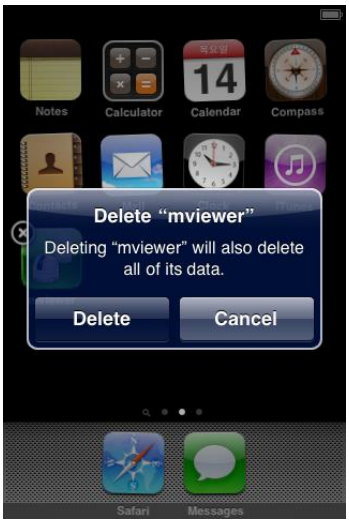


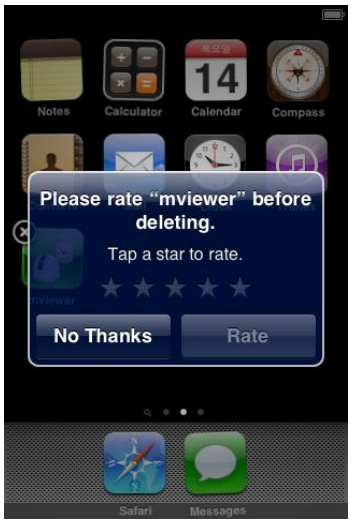
- 切断するときは、“Disconnect”をクリックしてからプログラムを閉じます。

12.1.7 アンインストール



• アイコン “ ” を少し長くクリックするとアイコンの左上に x マークが表示されます。





• xマークの付いたアイコン “ ” をクリックするとソフトを削除する画面が表示されます。

• ボタン “

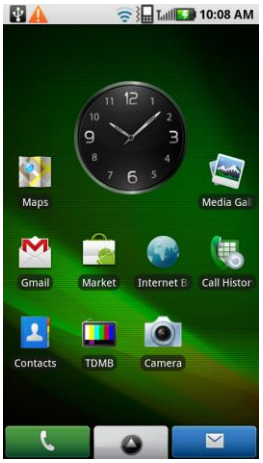
” をクリックしてソフトをアンインストールします。

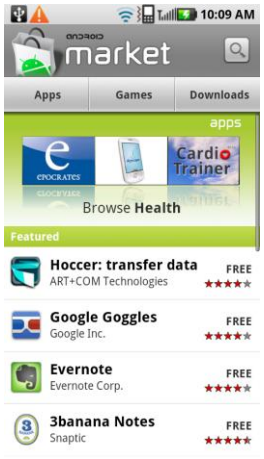
12.2アンドロイドOSスマートフォン

12.2.1 動作環境

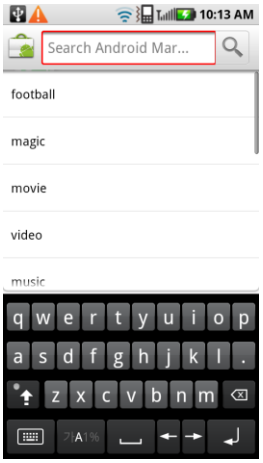
• アンドロイドOSスマートフォン （このソフトはアンドロイドOSスマートフォン専用です。）

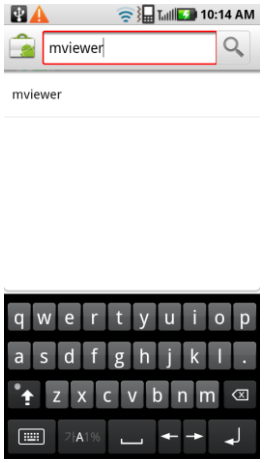
12.2.2 インストール



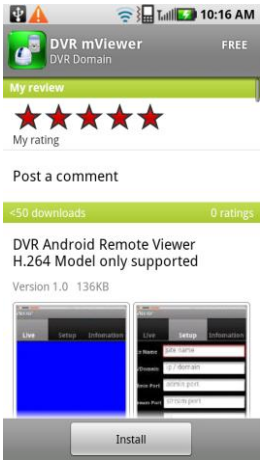


• スマートフォンを起動しアンドロイドマーケットに接続します。





• 検索メニューに移動し “mviewer” と入力し、dvrdomainからフリーで提供されているソフト “ ” を選択します。

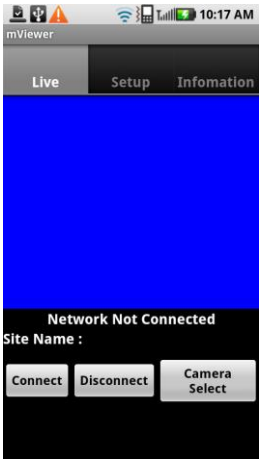


• ボタン “ Install ” をクリックし、次に “ OK ” をクリックしインストールを開始します。

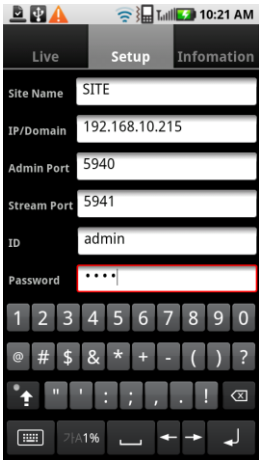
• プログラムは自動的にインストールされ、アプリケーションメニューに加えられます。

12.2.3 サイト（DVR）の登録

• アプリケーションメニュー内のアイコン “ ” をクリックすると下の画面が表示されます。



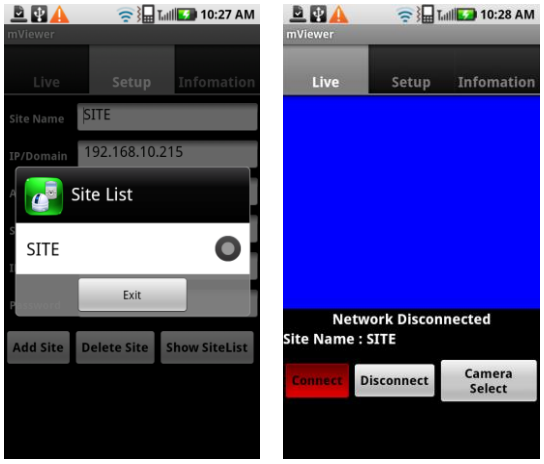
• 設定画面のタブ “ Setup ” から下の画面を表示し、DVRに設定したアドレス情報と同じ内容を入力します。



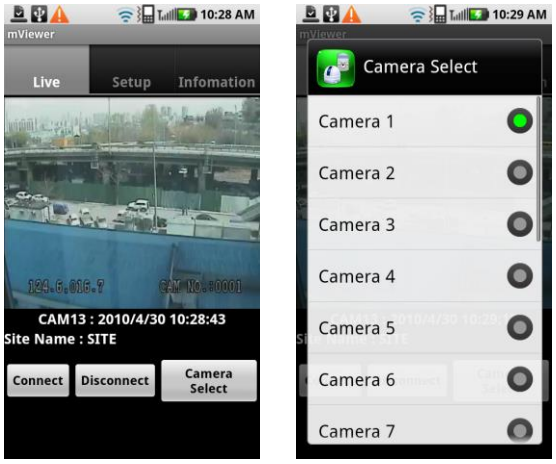
• サイト（DVR）名、IPアドレスあるいはDDNSアドレスを入力。

• Admin/Streamポートアドレスをそれぞれ入力、
• ID/Passwordをそれぞれ入力。
• ボタン “Add Site” をクリックして設定を保存します。

12.2.4 接続



• ボタン “Show SiteList” をクリックして設定したDVRを選択して “Exit” をクリックします。
• タブ “Live” をクリックし、次にアイコン “Connect” をクリックします。



• 他のチャンネルを選択するには、DVR名の下にあるアイコン “Camera Select” をクリックします。

12.2.5 PTZカメラコントロール

• アンドロイドOSのスマートフォンでPTZカメラをコントロールできます。
• 画面右側のボリュームを上げるとズームインします。
• 画面右側のボリュームを下げるとズームアウトします。

- 画面の横や角に触れてカメラの方向を変えることができます。
- 右側に触れるとカメラは右方向に、左側に触れるとカメラは左方向に向きを変えます。
- 上側に触れるとカメラは上方向に、下側に触れるとカメラは下方向に向きを変えます。
- 同様に画面の4隅に触れてもカメラの方向を変えることができます。

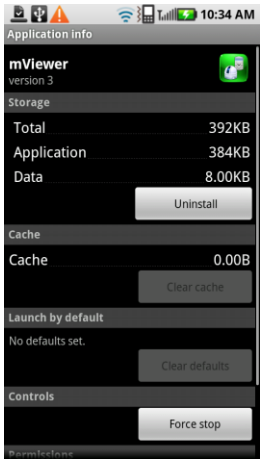
12.2.6 切断

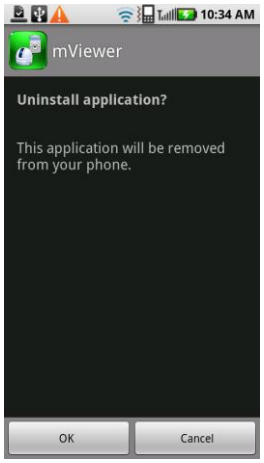
- 切断するときは、“

”をクリックしてからプログラムを閉じます。

12.2.7 アンインストール

- Setup > Application > Manage Applications と移動し、“ ”アイコンをクリックします。





• アンインストールアイコン“Uninstall”をクリックするとソフトを削除してよいか問い合わせてきます。

• OKアイコン“OK” をクリックするとアンインストールが実行されます。

12.3 ブラックベリーOSスマートフォン

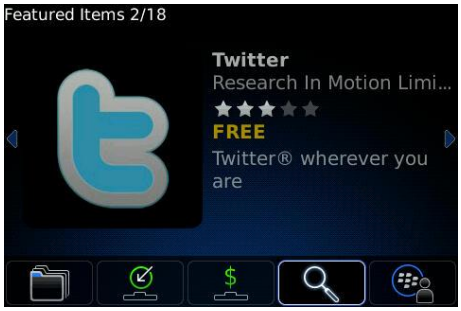
12.3.1 動作環境

• ブラックベリーOSスマートフォン （このソフトはブラックベリーOSスマートフォン専用です。）

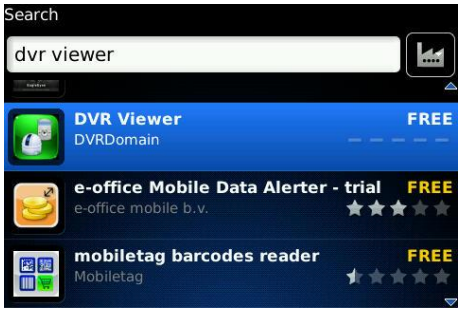
12.3.2 インストール

• スマートフォンを起動しBlackberry App World に接続します。

• 検索アイコンをクリックし、“DVR Viewer”と入力します。



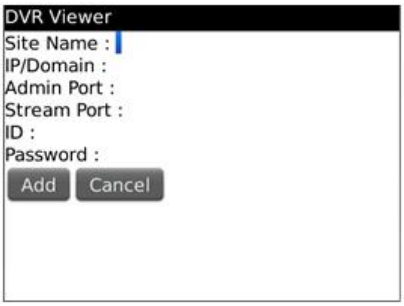
• “DVR viewer”を選択します。このアプリケーションソフトはdvrdomainから提供されているフリーソフトです。アイコンをクリックしてインストールを開始します。



12.3.3 サイト(DVR)の登録

• ソフトをダウンロードしてから、ダウンロードフォルダかアプリケーションフォルダに入っているアイコン“ ”をクリックすると下の画面が表示されます。

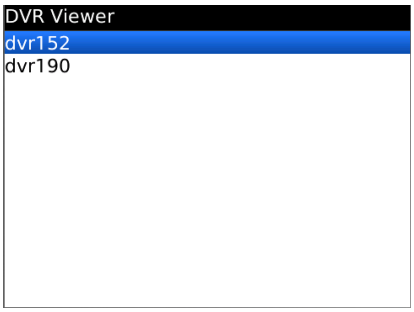
• “menu>New”とクリックしてサイト(DVR)の情報を入力します。



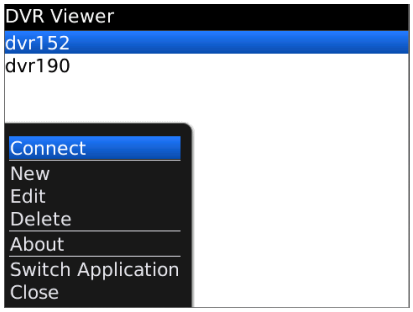
• サイト(DVR)名、IPアドレスあるいはDDNSアドレスを入力。
• Admin/Streamポートアドレスをそれぞれ入力。
• ID/Passwordをそれぞれ入力。
• “Add”ボタンをクリックして設定を保存します。

12.3.4 接続

• 正しく登録が行われると、下のような画面が表示されます。



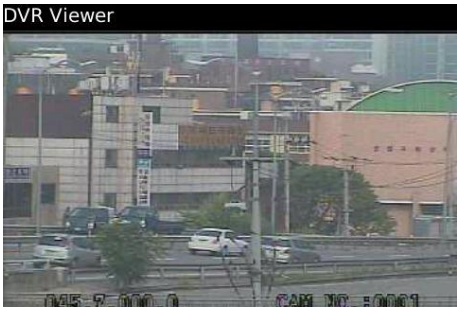
• “Menu>Connect”とクリックしサイト(DVR)に接続します。



• チャンネルを変更したいときは、“Menu”をクリックしてチャンネルを選択します。

12.3.5 PTZカメラコントロール

• ブラックベリーOSのスマートフォンでPTZカメラをコントロールできます。
• 画面右側のボリュームを上げるとズームインします。
• 画面右側のボリュームを下げるとズームアウトします。



• カメラの方向を変えるには番号ボタン1-9を使用します。
• 例えば、4のボタンを押すと左へ、6のボタンならば右へ方向が変わります。
• 同様に2のボタンで上へ、8のボタンで下へ方向が変わります。

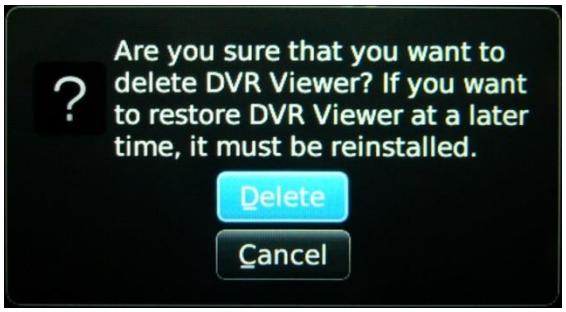
（注意）
タッチパネル方式のブラックベリーの場合はPTZカメラの方向を変えるのは番号ボタンではなく、アンドロイドOSと同じ操作方法となります。

12.3.6 切断

• 接続を終えるときは、"Disconnect"をクリックしてからプログラムを終了します。

12.3.7 アンインストール

• ソフトをアンインストールするには、ダウンロードフォルダの “DVR Viewer”アイコンから Menu>Delete” とクリックします。


Are you sure that you want to delete DVR Viewer? If you want to restore DVR Viewer at a later time, it must be reinstalled.
Delete
Cancel

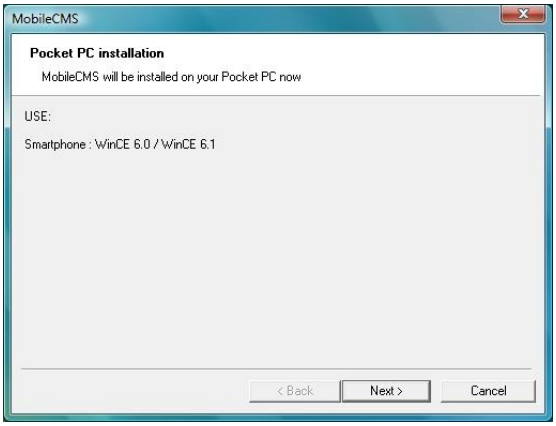
12.4 ウィンドウズOSスマートフォン

12.4.1 動作環境

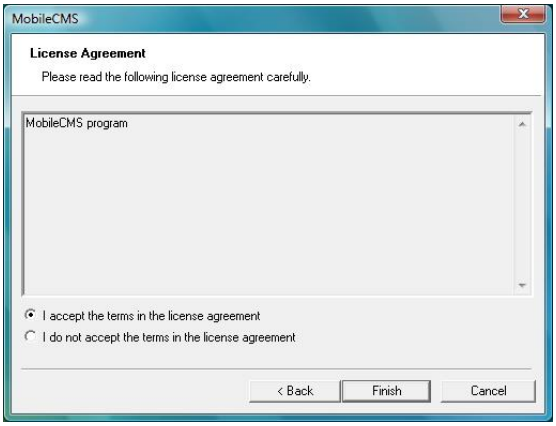
• OS : Windows Mobile Professional 6.1 あるいはそれ以降のバージョン
• メモリ : 512KB以上
• デバイス : スマートフォン
• ネットワーク : ワイヤレスネットワーク Wi-fi, HSDPA, Wibro などによる通信環境

12.4.2 インストール

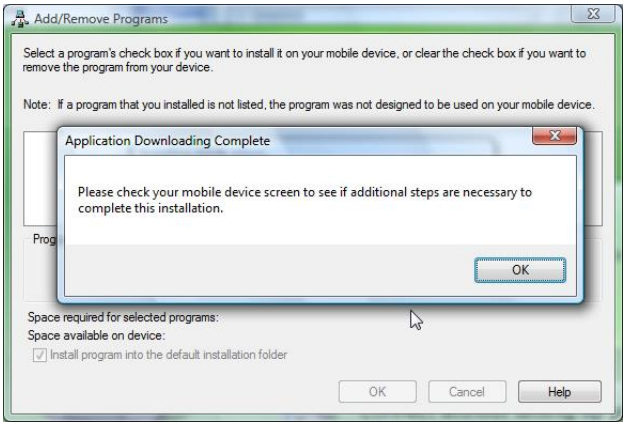
• お使いのPCにマイクロソフトの ActiveSync をインストールします。
  – ActiveSync はマイクロソフトの次のウェブサイトでダウンロードできます。
  – ウェブサイト http://www.microsoft.com/ja/jp/default.aspx からダウンロードセンター＞モバイルデバイス＞ActiveSyncX.X
  – Microsoft® ActiveSync® X.XはWindows Mobile® ベースのデバイス用同期ソフトウェアです。USB接続したモバイル機器とPCのドキュメントやカレンダ、住所録、電子メールなどの同期を取れます。
• スマートフォンとPCを接続して“Setup_MobileCOM.exe”をダブルクリックするとインストールが開始されます。
• 次の画面が表示されます。



• “Next”ボタンをクリックします。



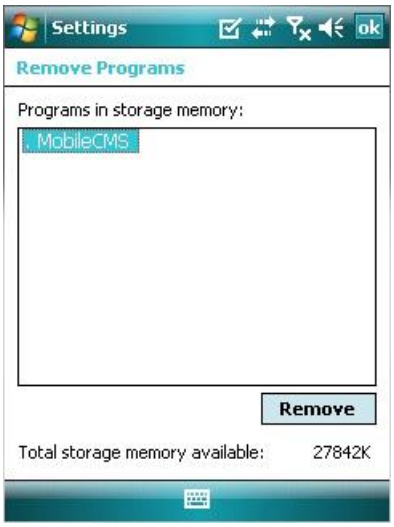
• 使用許諾条件に同意し、“Finish”ボタンをクリックします。



• インストール画面が表示されます。
• [OK] ボタンをクリックしてインストールを開始します。
• インストールが完了すると上のようなポップアップ画面が表示されます。
• [OK]ボタンをクリックします。
• インストールが成功すると次のような画面が表示されます。

（注意）
スマートフォンの種類によっては上記画面が表示されないことがあります。
使用許諾条件の画面が表示されたときは[OK] ボタンをクリックしてください。

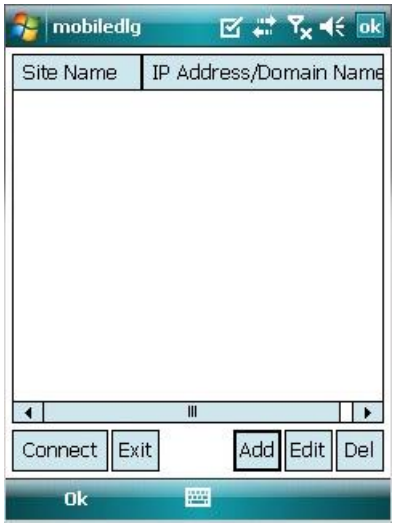
• [Programs] ページに移動し、MobileCMSがインストールされていることを確認します。

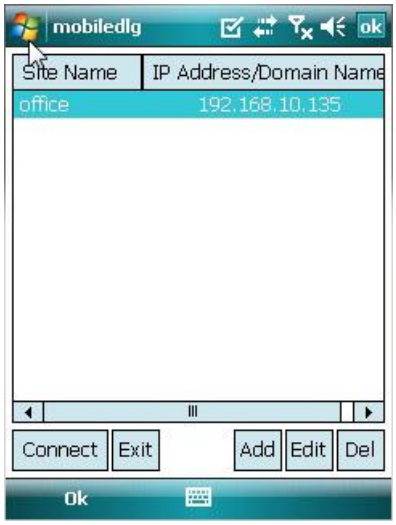


12.4.3 サイト（DVR）の登録

Add

• 下の画面で［Add］をクリックします。

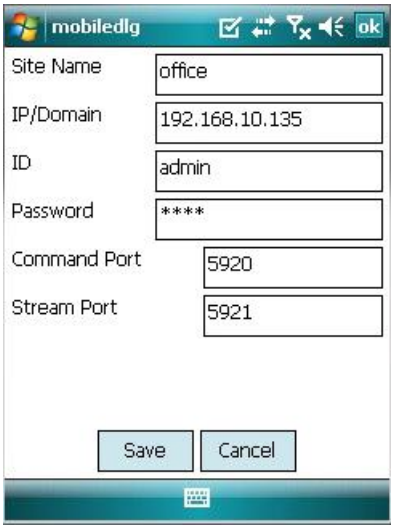




• 次の情報を正しく入力します。
  - Site Name： サイト（DVR）名
  - IP/Domain： IPアドレスあるいはドメイン名
  - ID： サイト（DVR）のID
  - Password： パスワード
  - Command Port :コマンドポート番号
  - Stream Port :ストリームポート番号
• 下記画面で[Save］ボタンをクリックして設定を保存します。

Edit

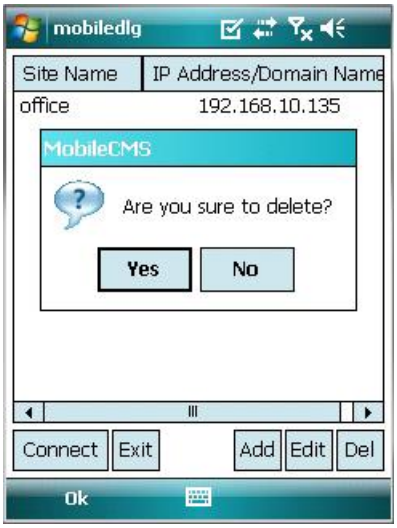
• 情報を変更する場合はサイトを選択し、[Edit］をクリックすると次の画面が表示されます。



• 必要な情報を変更した後、[Save]をクリックして保存します。

Delete

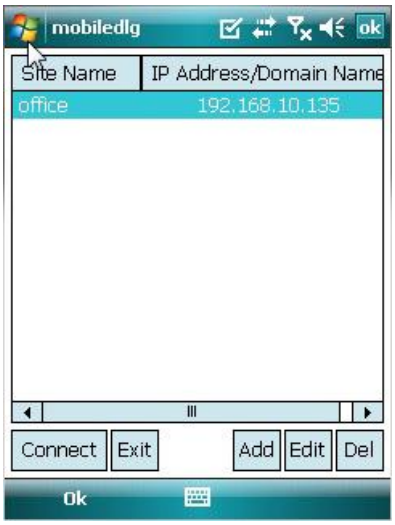
• サイトを削除する場合は[Del]をクリックします。
• 右のような確認画面が表示されます。



• [Yes] をクリックするとサイト情報が削除されます。

12.4.4 接続

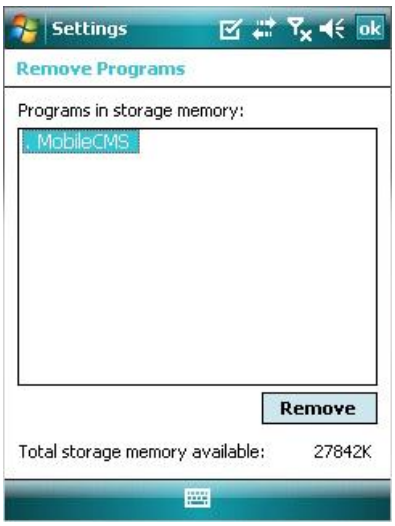
• サイトを選択して[Connect]をクリックします。

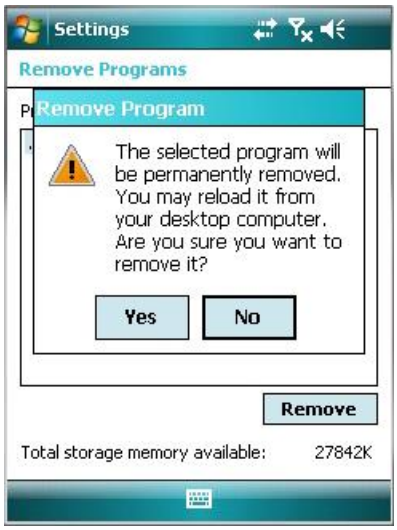


• 接続に成功するとサイトのライブ映像画面が表示されます。
• 見たいカメラのボタンをクリックすると、そのカメラの映像が表示されます。
• [Disconnect] をクリックするとライブ映像画面が閉じ、サイトを選択する画面が表示されます。

12.4.5 アンインストール

- [Program Menu> System] と移動し [Remove Programs]をクリックします。
- 現在インストールされているソフトのリストが表示されます。




Settings
Remove Programs
Remove Program
The selected program will be permanently removed. You may reload it from your desktop computer. Are you sure you want to remove it?
Yes
No
Remove
Total storage memory available:
27842K

- Mobile CMS を選択し、[Remove]をクリックします。
- 確認画面がポップアップ表示されます。
- [Yes] をクリックするとソフトがアンインストールされます。

付録

設定条件と録画時間

HDD: 320GB

4ch	解像度 360 x 240						解像度 720 x 480					
	STANDARD		HIGH		Super		STANDARD		HIGH		Super	
	2.3KB		3.3KB		4.4KB		9.2KB		13.2KB		17.6KB	
(フレーム/秒)	日	時間	日	時間	日	時間	日	時間	日	時間	日	時間
30	15	20	11	0	8	6						
15	31	14	22	0	16	13						
7	67	17	47	5	35	10	16	22	11	19	8	21
5	94	19	66	2	49	13	23	17	16	13	12	9
3	158	0	110	4	82	15	39	12	27	13	20	15
1	474	2	330	10	247	19	118	12	82	15	61	24

HDD: 500GB

4ch	解像度 360 x 240						解像度 720 x 480					
	STANDARD		HIGH		Super		STANDARD		HIGH		Super	
	2.3KB		3.3KB		4.4KB		9.2KB		13.2KB		17.6KB	
(フレーム/秒)	日	時間	日	時間	日	時間	日	時間	日	時間	日	時間
30	20	6	14	2	10	14						
15	40	10	28	4	21	4						
7	86	16	60	10	45	8	21	16	15	2	11	8
5	121	8	84	14	63	10	30	8	21	4	15	20
3	202	6	141	0	105	18	50	14	35	6	26	10
1	606	20	422	22	317	4	151	16	105	18	79	8